

令和元年度  
野洲市の教育

令和元年（2019年）5月

滋賀県 野洲市教育委員会

# も く じ

■ 2019年度野洲市の教育方針	1
はじめに	1
1. 2018年度をふりかえって	1
2. 2019年度の具体的な施策	4
資料 野洲市教育大綱(平成28年度～平成32年度)	10
資料 野洲市教育振興基本計画第2期施策体系図	11
資料 野洲市教育振興計画の位置付け	12
■ 野洲市主な事業の概要	13
豊かな人間性をはぐくむまち	15
美しい風土を守り育てるまち	18
■ 元気な学校・園づくり (幼稚園・小中学校の取組)	21
幼稚園	23
小学校	31
中学校	37
■ 資料編	
野洲市の概要	43
1. 市の沿革	43
2. 位置・地勢等	43
3. 人口・世帯	44
4. 市の面積	44
5. 市役所の位置	44
教育委員会の仕組みと仕事	45
1. 教育委員会の仕組み	45
2. 教育委員会の仕事	46
3. 教育委員会の組織図	46
4. 教育委員会の組織表	47
学校・園の概要	49
1. 幼稚園	49
2. 小学校	50
3. 中学校	51
野洲市教育委員会の沿革	52

はじめに

## 北代 色(きただい いろ) さんの作文を紹介します。

わたくしは うちがびんぼうであつたので がっこうへいっておりませ  
 だから じをぜんぜんしりませんでした。  
 いま しきじがつきゅうでべんきょうして かなだけは だいたいおほ  
 えました。  
 いままで おいしゃへいっても うけつけでなまえをかいてもらって  
 いましたが ためしにじぶんでかいてためしてみました。  
 かんごふさんが 北代さん と よんでくれたので 大へんうれし  
 かつた。  
 夕やけを見ても あまりうつくしいと思はなかつたけれど じをおほ  
 えて ほんとうにうつくしいと思うようになりました。みちをあるいてお  
 つても かんばんにきをつけていて ならつたじを見つけると 大へんうれ  
 しく思います。すうじおほえたので スーパーやもくよういちへゆくのも  
 たのしみになりました。  
 また りよかんへ行つても へやのばんごうをおほえるので はじめか  
 かなくなりました。これからはがんばつて もっともっとべんきょうを  
 したいです。  
 十年ながいきをしたいと思います。  
 (昭和)四十八年二月二十八日

またりよかんへ行つても へやのばん  
 ごうをおほえるので はじめか  
 かなくなりました。これからは  
 がんばつて もっとも  
 っとべんきょうを  
 したいです。  
 十年ながいきを  
 したいと思  
 います。  
 四十八年二月二十八日  
 北代色

わたくしは うちがびんぼうであつたので がっこうへいっておりませ  
 だから じをぜんぜんしりませんでした。  
 いま しきじがつきゅうでべんきょうして かなだけは だいたいおほ  
 えました。  
 いままで おいしゃへいっても うけつけでなまえをかいてもらって  
 いましたが ためしにじぶんでかいてためしてみました。  
 かんごふさんが 北代さん と よんでくれたので 大へんうれし  
 かつた。  
 夕やけを見ても あまりうつくしいと思はなかつたけれど じをおほ  
 えて ほんとうにうつくしいと思うようになりました。みちをあるいてお  
 つても かんばんにきをつけていて ならつたじを見つけると 大へんうれ  
 しく思います。すうじおほえたので スーパーやもくよういちへゆくのも  
 たのしみになりました。  
 また りよかんへ行つても へやのばんごうをおほえるので はじめか  
 かなくなりました。これからはがんばつて もっともっとべんきょうを  
 したいです。  
 十年ながいきをしたいと思います。  
 (昭和)四十八年二月二十八日

北代 色

これは70歳になる北代さんが地元高知の識字教室で書かれた文章です。差別と貧困のために文字を身につけることができず、70歳になって学習するなかで取り戻してきた北代さんの「学ぶこと」に対する熱い思いが伝わってきます。そして、文字を覚えることで新たに見えてきた夕焼けの美しさは、何よりも「学ぶこと」が人生を豊かにすることや生きていくたくましさを私たちに伝えてくれます。

私たち野洲市教育委員会は、子どもたちはもとより全ての世代のみなさん一人ひとりの人生がより豊かで充実したものとなりますよう、多様な学びの場や機会を提供していくことを目標にしています。そして、学校・園の教育（保育）はもちろん、文化やスポーツ、地域の歴史振興などを含めた教育行政を進め、野洲のまちづくりへとつなげていきます。

## 1. 2018年度をふりかえって

教育委員会では、本市の『野洲市総合計画』のもとに『野洲市教育振興基本計画』(注1)(2016～2020年度)を定めています。そこでは、基本理念「愛と輝きのある教育のまち・野洲」のもと、一人ひとりが大切にされ、おとな子どもも学びあうひとづくり・まちづくりをめざしています。また、子どもから高齢者までがさまざまな学びや活動に取り組むことで、「笑顔」「元気」「自信」「誇り」などの輝きを創出する教育を進めてきました。そして、2018年度は次のような成果や課題が見えてきました。

### (1) 学校・園

本市では、人権教育や特別支援教育に力を入れてきました。その結果、ここ数年変わらず8割以上の子どもたちが学校生活を楽しいと感じています。これは、変化の激しい現代社会で子どもたちにたくましく生きる力が育ってきていることの現われです。

一方で、中学校の不登校が大きな課題(5.16%)となっています。これは全県(2.98%)や全国(3.38%)を大きく上回っています。小学校では、本市(0.53%)は全県(0.56%)や全国(0.55%)と変わらないものの、「行き渋り」が多い実態があります。そして、この傾向は就学前にも見られます。

また、ここ数年の全国学力学習状況調査(注2)では、本市の学力の高い層や低位層の割合は全国と変わりませんが、中間層の低下傾向が見られ、学力の二極化が拡大してきたことが伺えます。それは放課後の読書時間の二極化にも現れており、特に中学校では「一日10分以下、もしくは全く読まない」という生徒の割合が全国より10ポイント以上高い状況です。さらに、ゲームやインターネットをしている児童生徒の割合も全国より数ポイント高いという結果も出ています。家庭や地域での過ごし方が課題であると考えています。

さらに、2018年度には重大ないじめや教職員の体罰事案が発生しました。これらから学校の初期対応や組織対応の課題が見えてきました。また、何よりも教職員自身のいじめや体罰に対する認識の甘さが問われています。

そして、ベテラン教職員の大量(定年)退職と若手の増加による授業や集団づくりの指導力の問題、さらには、教職員の長時間労働(働き方改革)(注3)など

の課題もあります。また、道徳の教科化や小学校英語の拡充、プログラミング教育<sup>(注4)</sup>の導入など、新しい教育内容に対応する教員の資質向上も求められています。

ハード面では、学校・園の耐震化は完了しました。また、三上幼稚園は、新たに三上保育園と一体的な施設として2019年4月に「三上こども園」として開園します。一方で『小中学校施設保全計画』<sup>(注5)</sup>を策定したように、校舎施設の老朽化や学級増に伴う校舎増築などの課題があり、中主小学校、野洲北中学校を中心に工事を進めています。

さらに、小・中学校では昨年度に続いてICT教育<sup>(注6)</sup>（情報通信技術を活用した教育）の推進を図っており、引き続き高度情報化社会を生き抜く力の育成が課題となっています。

## （2）家庭や地域

子ども一人ひとりの豊かな成長には、世代を超えて多くの方が子どもの育ちに関心を持ち、家庭・地域での積極的な関わりを持つ必要があります。

家庭は子どもが育つ上で重要な責任と役割を担っている場ですが、一部には保護者が子育てに無関心であったり、逆に過保護・過干渉などによる子どもの成長にゆがみが見られることもあります。また、地域は子どもが社会性や公共性を身につける場ですが、地域住民の人間関係の希薄化などから「地域の子どもは地域で守り育てる」という意識が低下してきています。

その結果、一部には規範意識や人権意識の低さに起因するいじめなどの生徒指導上の課題や、貧困・虐待などの課題を抱えた家庭への支援、保護者の孤立化や地域との協力関係などに課題が見られます。

## （3）生涯学習・生涯スポーツ

2018年2月、永原御殿跡<sup>(注7)</sup>発掘現地説明会を持ちました。ここは江戸時代初期、徳川将軍の上洛専用宿館として大変貴重な遺跡です。当日はこれに地元妓王まちづくり推進協議会が協賛し、豚汁の炊出しと駐車場支援がありました。説明会への参加者は400人を超え、地域連携の大きな成果となりました。今後は、国の史跡指定や地元と協働した保存活用をめざします。

こうした取組みは生涯学習推進のモデルとなるものであり、本市のまちづくりに大いにつながるものであると捉えています。

また、2018年度の文化財収蔵庫の完成により、市内の貴重な文化財を一元管理することができるようになりました。博物館とも隣接しており、市民への公開や発信に力を入れていきます。

さて、2019年度から始まる『野洲市生涯学習振興計画第2期』<sup>(注8)</sup>（2019～2023年度）では、「次代の地域の担い手の育成～豊かな地域社会に～」をめざす姿と位置づけ、生涯学習による豊かな地域社会づくりをめざして施策を計画的に進めます。そして、全ての世代のみなさん一人ひとりの人生がより豊かで充実した野洲のまちづくりにつなげていきます。

## 2. 2019年度の具体的な施策

### (1) 学校・園・・・子どもの「生き抜く力」を育てます。

子どもたちを取り巻く社会はグローバル化や情報化、多様化が大きく進んでいます。こうした社会の変化に柔軟に対応し、子どもたちがたくましく生き抜いていくためには、「自ら考え、判断し、やり遂げる力」と「仲間と協働し、たくましく生きる力」を身につけることが大切です。学校教育では、子どもたちの発達段階に応じて豊かな情操や自尊感情、人を思いやる心、社会性などを育み、生涯にわたって運動に親しむ能力や体力づくり、食育などによる健康の保持増進の基礎となる力を培うとともに、確かな学力を身につけていくことが必要です。

#### 特に、新規事業として

- ①通級指導教室指導員（1名）を新たに配置し、通級指導教室で学ぶ生徒に対してきめ細かい支援を行っていきます。
- ②学校、給食センターと学校教育課の3者で担っている給食負担金の徴収事務を学校教育課に一元化し、適正化、効率化を図ります。また、そのことで「働き方改革」を進め、教員が児童生徒に向き合う時間を増やします。
- ③三上こども園が開園し、こども園4園（篠原、ゆきはた、さくらばさま、三上）と4幼稚園（中主、祇王、野洲、北野）の8園体制で就学前教育を進めます。

#### 継続、拡充する事業として

- ①すべての子どもたちが元気に生きいきと学ぶことができるよう特別支援教育担当を継続して配置するとともに、外国人児童生徒への日本語指導員による支援に努めます。
- ②小・中学校の道徳教育や人権教育の充実に努め、いじめや差別を許さない仲間づくりを進めます。
- ③児童生徒のいじめや不登校、問題行動、また、教職員の不祥事や体罰問題などの克服のための教職員研修の充実に努め、学校・園の初期対応や組織対応の強化に努めます。
- ④増加する学校の若手教職員の資質向上を図るため、市教育委員会による学校訪問を充実します。
- ⑤こども課等児童福祉部門と連携しながら、就学前教育の充実に努めます。
- ⑥全ての小学校に英語教育支援員（6名）を配置します。（増員）
- ⑦スクールソーシャルワーカー<sup>(注9)</sup>（6名配置）とそれらを指導、統括するスーパーバイザー<sup>(注10)</sup>（1名）を配置し、関係機関と連携しながら、子どもたちの情緒安定化と家庭教育環境の支援を更に充実します。
- ⑧教職員の業務支援を図るスクール・サポート・スタッフ<sup>(注11)</sup>（9名）を全ての学校に配置し、教職員の働き方改革を進め、教員が児童生徒に向き合う時間を増やします。
- ⑨学校園の特色ある取り組みを支援する「元気な学校づくり」事業<sup>(注12)</sup>を進め、子どもたちが将来の夢や希望をもてる体験活動や「キャリア教育」<sup>(注13)</sup>などを推進します。また、その成果を市民に積極的に発信する場を設け

ます。

- ⑩小学生がびわ湖ホール声楽アンサンブルによるオペラ公演を鑑賞し、生の芸術（質の高い芸術）に触れる機会を確保します。
- ⑪市教育研究所等による研修講座を多様化し、新しい学習指導要領にもとづいた「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業改善や学級集団づくりなど、特に若手教職員の指導力向上に努めます。
- ⑫学校のICT教育を進めるために、小・中学校の老朽化したパソコン教室のパソコンを入れ替えるとともに、普通教室等における無線LAN環境の拡充に努めます。
- ⑬中主幼稚園、中主小学校と中主中学校の「幼小中一貫教育」(注14)を推進するとともに、野洲中学校区や野洲北中学校区の小中連携(注15)をさらに進めます。
- ⑭老朽化した中主小学校及び野洲北中学校の大規模改修並びに将来不足する教室数に対応するための校舎増築に向けて、2018年度の実施設計に基づき、建築工事に着手します。

## (2) 家庭・地域など・・・子どもの「育ち」を支援する環境の充実に努めます。

大人が子どものよい手本となり、子どもの健全な心身や規範意識を育むことにつながる家庭や地域の教育力の向上を図るとともに、学校や家庭、地域や企業、行政などがそれぞれの役割に応じて力を発揮し、互いに連携・協力して子どもの「育ち」を支援することが大切です。

子どもの育ちを支援するために、以下の取り組みを推進します。

### 継続、拡充する事業として

- ①家庭や地域と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」運動(注16)や「愛の声かけ運動」(注17)などのあいさつ運動を推進します。
- ②PTAや保護者会と協力し、子どもの社会性や規範意識を育み、子どもを守り育てるための研修会を保護者と教職員を対象に開催します。
- ③学校や家庭とふれあい教育相談センターとの連携をさらに深め、学校生活に関する悩みや課題の解決にむけた取り組みを充実します。
- ④野洲市青少年育成会議の「地域の子どもは地域で守り育てる」視点を尊重し、また、守山野洲少年センターと連携することで、市内の青少年の健全育成を図ります。
- ⑤各コミュニティセンターで地域の人々が運営される「地域子ども教室」(注18)について、子どもたちの体験学習の場としての支援を続けます。
- ⑥地域全体で学校教育を支援する「学校応援団」(注19)事業をさらに進めるとともに、コミュニティセンターや学校評議員との連携を深めます。

## (3) 生涯学習・・・「だれでも、どこでも」学びあう環境を整備します。

誰もが自己の生活を豊かにしていくためには、生涯をとおして自ら学びを広げ、深めていくことが重要です。本市では「おとなも子どもも共に学びあう」という考えのもとに、生涯学習社会の実現をめざしています。

この理念をさらに高く掲げ、すべての人が参加しやすく生きがいを感じられるような生涯学習・生涯スポーツの環境の整備や提供を進めるとともに、各個人がその学習の成果を生かせる環境づくりを進めます。

#### 継続、拡充する事業として

- ①市民に学習機会を提供するため、生涯学習出前講座(注20)の実施や生涯学習セミナーを開催し、生涯学習を推進します。
- ②美術展覧会や文化芸術祭などを開催し、文化・芸術活動への支援を継続します。また、参加者を増やすために市民に周知します。
- ③郷土ゆかりの俳人北村季吟の顕彰事業(注21)を進め、市民に俳句の楽しさを知ってもらうため、俳句会やお話会・歌声コンサートを開催します。
- ④文化ホールの独自公演の開催に努め、特に若者層を中心に人気のアーティストを招聘します。
- ⑤「野洲市スポーツ推進計画」(注22)に基づき、誰もが気軽に楽しくスポーツができる生涯スポーツ社会の実現をめざします。
- ⑥地域での人権教育や啓発事業を進めます。
- ⑦史跡公園である大岩山古墳群の維持管理を図り、公開活用を進めます。
- ⑧江戸時代初期の将軍宿館である「永原御殿跡」(永原・江部)については、地権者と地域の協力を得ながら総合的な調査を継続し、2019年度に国史跡の指定をめざします。
- ⑨市内で実施する発掘調査について、現地説明会や博物館展示等により、調査成果を広く市民に公表・発信します。
- ⑩博物館では地域の歴史や文化を時節にふさわしいテーマにより、わかりやすく紹介する展覧会を開催します。(秋期企画展「人と魚の歴史学」等)
- ⑪図書館では、潜在的なニーズにも留意し、新鮮で魅力ある資料を収集するとともに、市民が必要とする資料を確実に提供します。また、子どもと読書に関する講演会などを開催し、保護者や市民ボランティア等、子どもに関わる人への学習機会の提供や啓発を行います。

## 用語解説

### (注1) 野洲市教育振興基本計画

「野洲市教育振興基本計画（第2期）〔平成28年度～平成32年度〕」を策定しており、当計画では、教育を取り巻く社会の動向や第1期計画の成果と課題、総合教育会議で決定された「教育大綱」を踏まえるとともに、国の第2期教育振興基本計画を参酌（参考にして長所を取り入れる）しながら、平成28年度からの5年間に重点的に取り組むべき施策を明らかにし、本市の教育の一層の推進を図るもの。平成30年度に計画内容の中間見直しを行った。

### (注2) 全国学力学習状況調査

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、日本全国の小中学校の最高学年（小学6年生、中学3年生）を対象として、子ども達の生活スタイルや学習状況を含め総合的に調査が行われる。調査結果について把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証、改善に役立てることを目的としている。

### (注3) 働き方改革

教職員が時間の面でも気持ちの面でもゆとりをもって子ども一人ひとりと向き合えることを目指して、教職員の長時間労働を改善し、子どもと教職員がともに元気でいきいきと活動できる学校にするための取組。

### (注4) プログラミング教育

コンピュータを意図通りに動かす体験をとおして、論理的思考力やコンピュータを上手に活用して身近な問題を解決する力等を育む教育のこと。2020年度から実施される新しい学習指導要領に盛り込まれ、新たに小学校で必修化される。

### (注5) 小中学校施設保全計画

国において平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」において平成32年頃までに個別施設毎の長寿命化計画の策定が求められたことから、今後の小中学校建物等施設の適正な維持管理及び長寿命化を図るため、平成26年3月に策定したもの。

今後計画に基づき、財政状況を見極めた上で、順次老朽化対策を必要とする各小中学校施設における大規模改修等工事を計画的に実施しようとするもの。

### (注6) ICT教育

情報通信技術を活用して、液晶モニター等大型表示装置やタブレットなどを使って効果的に学習を行うことで、子どもの理解力や思考力の向上、学習意欲の向上などの効果が見られます。

### (注7) 永原御殿跡

徳川将軍が上洛する際の宿泊施設として、朝鮮人街道沿いに築かれた城館です。

慶長6年（1601）に徳川家康が宿泊し、以後、家康が6回、二代将軍秀忠が3回、三代将軍家光が2回宿泊し、寛永11年（1634）の家光の宿泊を最後に御殿は廃止されました。

### (注8) 野洲市生涯学習振興計画第2期

平成26年3月に策定した野洲市生涯学習振興計画の期間が満了し、これまで推進してきた諸施策を見直し、充実・発展させて、平成31年度から5年間の本市における生涯学習施策を、計画的に振興するための指針として策定しました。

(注9) スクールソーシャルワーカー

貧困やDVなど子どもの家庭環境による問題に対応するため、教員を支援し、家庭児童相談室や市民生活相談課などの市の関係機関と連携しながら、課題解決を図る福祉の専門家のこと。

(注10) スーパーバイザー

教育及び福祉の分野で、高い専門的知識と技術及び経験を有し、スクールソーシャルワーカーの統括、指導・助言ができる福祉の専門家。

(注11) スクールサポートスタッフ

「働き方改革」を進める目的で、教員の授業以外の仕事を補助的に行うために配置された職員。

(注12) 元気な学校づくり事業

市長が適当と認めた学校及び幼稚園の事業に対し、予算の範囲内において「元気な学校づくり事業補助金」を交付し、野洲市立の小学校、中学校及び幼稚園での教育活動を支援することにより市の教育活動の振興を図るもの。

(注13) キャリア教育

子ども一人ひとりの職業的、社会的な自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を大切にした教育のこと。

(注14) 小中一貫教育

小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成して、系統的な教育を目指す教育のこと。小・中学校が同じ校舎にある「施設一体型」、校舎が隣接している「施設隣接型」、校舎が別々の場所にある「施設分離型」などのタイプがあり、中主小学校と中主中学校のケースは「施設分離型」に当たる。

(注15) 小中連携

小・中学校が互いに情報交換、交流することを通じ、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育のこと。

(注16) 早寝・早起き・朝ごはん運動

子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切であり、家庭における食事や睡眠などの乱れを、個々の家庭や子どもの問題として見過ごすことなく、社会全体の問題として地域による、一丸となった取り組みのこと。

(注17) 愛の声かけ運動

野洲市青少年育成市民会議の主催により、7月の「青少年非行・被害防止強調月間」・11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に、多様な主体が一体となって、市内通学路において、まちぐるみで幼児・児童・生徒の通園・通学の姿を見守りながらあいさつや声かけを行うもの。

(注18) 地域子ども教室

学区単位で地域教育協議会を組織して、コミュニティセンターを拠点に子どもたちの活動拠点（居場所）を確保し、放課後や週末、長期休暇等における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援するもの。

(注19) 学校応援団

家庭を含む地域全体で学校教育を支援する組織。

(注 20) 出前講座

自治会やグループなど 10 名以上の方がお集まりいただき、市の業務の中で、市民のみなさんが聞きたい、知りたい、学びたい内容をメニューから選んでいただき、市の職員等が講師となって皆様の地域へ出向きお話するもの。

(注 21) 北村季吟顕彰事業

野洲郡北村（現・野洲市北）ゆかりの俳人、歌人、国文学者で、近江三聖人（北村季吟、中江藤樹、雨森芳洲）の 1 人である北村季吟（1624～1705）の業績を顕彰する事業として、命日の 6 月に俳句会と地元自治会による追悼法要が開催されます。

(注 22) 野洲市スポーツ推進計画

スポーツを通じて、市民が幸福で活力ある生活を営むことができる施策を進めるために、平成 28 年度から今後 10 年間の目標を示したものを、平成 28 年 3 月策定。

# 野洲市教育大綱

【平成28年度～平成32年度】

野洲市は、『豊かな自然と歴史に恵まれたにぎわいとやすらぎのあるまち』をめざすべき都市像として掲げ、「みんなが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり」のために、「豊かな人間性をはぐくむまち」など、6つの基本目標に沿ってまちづくりを進めています。

市民一人ひとりが知恵や力を出し合い、家庭、学校、地域、企業、NPO・市民団体等がそれぞれの責任と役割をしっかりと果たすとともに、連携・協働しながら安心して学べる教育環境を創出し、未来の野洲市を担う頼もしい人づくりを柱に教育振興のまちづくりを進めます。

## 基本理念

愛と輝きのある教育のまち・野洲

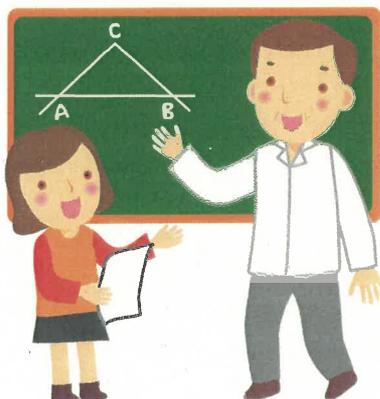
～一人ひとりが大切にされ、おとなも子どもも学びあうひとづくり・まちづくり～

## 基本目標

### I 子どもの「育ち」を支援します。

～家庭・地域と連携して～

1. 子育て・子育て支援の充実
2. 青少年の健全育成
3. 安心・安全な教育環境づくり



### II 子どもの「生き抜く力」を育てます。

～学校教育を中心として～

1. 豊かな心と健やかな体の育成
2. 確かな学力の育成
3. 特色ある学校経営

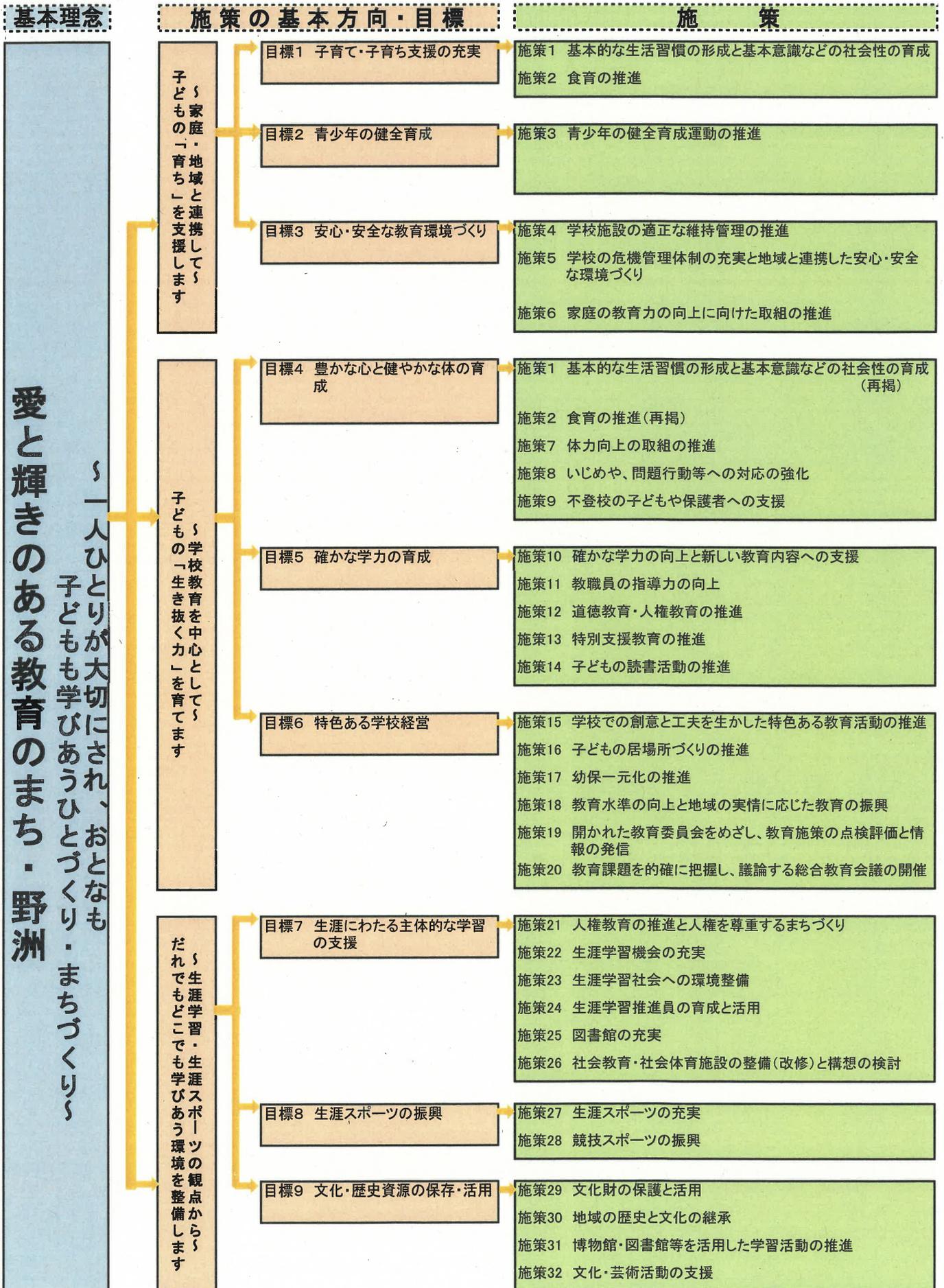
### III だれでもどこでも学びあう環境を整備します。

～生涯学習・生涯スポーツの観点から～

1. 生涯にわたる主体的な学習の支援
2. 生涯スポーツの振興
3. 文化・歴史資源の保存・活用

# 野洲市教育振興基本計画 第2期

## 施策体系図



# 野洲市教育振興基本計画の位置付け

野洲市総合計画 (平成24年度～32年度)

野洲市教育大綱 (平成28年度～32年度)

野洲市教育振興基本計画 (平成28年度～32年度)

野洲市生涯学習振興計画第2期 (平成31年度～平成35年度)

野洲市子どもの読書活動推進計画 (平成27年度～平成31年度)

野洲市スポーツ推進計画 (平成28年度～平成37年度)

野洲市子ども・子育て支援事業計画 (平成27年度～平成31年度)

野洲市乳幼児保育振興計画 (平成27年度～平成31年度)

元気な学校づくりマスタープラン (平成28年度～平成32年度)

野洲市人権施策基本計画 (平成28年度～平成32年度)

その他各種教育振興のための計画・方針等



# **野洲市 主な事業の概要**

**平成 31 年度予算資料より(教育委員会関係抜粋)**



## 主な事業の概要（教育委員会関係抜粋）

本市の総合計画のめざすべき都市像「豊かな自然と歴史に恵まれたにぎわいとやすらぎのあるまち～みんなが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり～」の実現のために、6つの「まちづくりの基本目標」のもと、各種の施策を展開する中で、平成31年度については、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりの実現に向けて、本市が直面する様々な行政課題に迅速かつ的確に対応できる予算とすることを基本としています。その重点事業の主なものとしては、次のとおりです。

- ・ **小中学校増築及び大規模改修工事** ・ 学童保育所運営費  
（篠原こどもの家増築工事含む）
- ・ 市立病院整備事業 ・ 余熱利用施設整備事業（温水プール等整備）
- ・ コミュニティバス運行（2路線拡充と増便）

※ 財源内訳の（ ）は、以下のことを表しています。

（使）：使用料及び手数料、（国）：国庫支出金、（県）：県支出金

（繰）：繰入金、（諸）：諸収入、（債）：市債、（一）：一般財源

## 『豊かな人間性をはぐくむまち』

### ○継続 【重点事業】小中学校増築及び大規模改修工事

： 11億4,566万2千円（前年度：1億2,193万2千円）

野洲市の未来を担う子どもたちの快適な学習環境を整備するため、老朽化が著しい中主小学校及び野洲北中学校の施設整備に取り組みます。

中主小学校増築及び大規模改修工事請負費	6億430万3千円
中主小学校増築及び大規模改修工事監理業務委託	2,169万8千円
中主小学校仮設校舎設置賃借料	2,189万2千円
野洲北中学校増築及び大規模改修工事請負費	4億5,424万8千円
野洲北中学校増築及び大規模改修工事監理業務委託	1,770万8千円
野洲北中学校仮設校舎設置賃借料	2,467万9千円

財源内訳：

（国） 9,919万4千円

（債） 9億2,270万円

（一） 1億2,376万8千円

○継続 特別支援教育の充実、不登校対策： 5,974万4千円

(前年度：6,064万円)

《特別支援教育の充実》

障がいのある児童及び生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を行うため、適正なコーディネーター加配や支援員の配置、巡回相談員の派遣等を行います。

《不登校児童及び生徒への支援》

不登校児童及び生徒への支援を図るため、心のオアシス相談員やスクーリング・ケアサポーターを学校に派遣して、不登校の未然防止や支援の充実を図ります。

また、不登校児童及び生徒の学校復帰を目指して、ふれあい教育相談センターにおいて適応指導教室、こころの教育相談を実施します。

財源内訳：

(国)	39万円
(県)	54万4千円
(繰)	3,000万円
(一)	2,881万円

○継続 野洲市いじめ問題対策事業： 14万5千円 (前年度：14万5千円)

野洲市で起こるいじめ防止のため専門委員会を設置し、関係機関と連携します。

野洲市いじめ問題等対策連絡協議会

野洲市立小中学校いじめ問題専門委員会

財源内訳：

(一)	14万5千円
-----	--------

○継続 通学路交通安全対策推進事業： 23万9千円 (前年度：25万7千円)

通学路における児童の安全を確保するため、交通安全の点検や危険箇所における交通安全対策について、更に、中学生の通学時の安全対策について、検討を進めます。

財源内訳：

(一)	23万9千円
-----	--------

○継続 元気な学校づくり事業補助金： 110万円 (前年度：110万円)

各学校の創意工夫の下、地域に根ざした特色ある教育活動を推進する事業に対して補助します。

財源内訳：

(一)	110万円
-----	-------

◎新規 スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーの配置： 58万円

スクールソーシャルワーカーの活動を更に効果的に進めるため、スクールソーシャルワーカーを統括や指導するスーパーバイザーを配置し、虐待をはじめ児童・生徒の生活環境の問題解決を充実させます。

財源内訳：

(一) 58万円

○継続 スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置： 562万6千円

（前年度：590万8千円）

社会福祉に関する専門的知識を有する者を教育現場に配置し、児童・生徒の置かれている、学校・家庭・地域等の「環境」に対して関係機関等と連携し、虐待をはじめ児童・生徒の生活環境の問題解決に努めます。

財源内訳：

(一) 562万6千円

○継続 英語教育支援員の配置： 598万5千円（前年度：605万円）

英語教育支援員を配置し、英語のコミュニケーションを図る楽しさを体験したり、英語のコミュニケーション能力の素地を養います。

財源内訳：

(一) 598万5千円

◎新規 小中学校コンピュータ教室PC機器更新事業： 2,919万8千円

小中学校のコンピュータ教室PC機器等について、更新整備を実施します。

財源内訳：

(一) 2,919万8千円

○継続 全国中学校駅伝大会市町負担金： 67万円（前年度：67万円）

県立希望ヶ丘文化公園で開催される全国中学校駅伝大会について、開催費用の一部を負担します。

財源内訳：

(一) 67万円

○継続 オペラ（声楽アンサンブル）鑑賞負担金： 38万7千円

（前年度：49万8千円）

公益財団法人びわ湖ホールの「オペラ 森は生きている」の企画を活用して、市内の小学生が広く鑑賞し芸術に直接触れる機会を確保します。

財源内訳：

（一） 38万7千円

## 『美しい風土を守り育てるまち』

○継続 企画展等開催事業： 228万7千円 （前年度：372万1千円）

歴史民俗博物館の秋期企画展として、野洲市をはじめ湖南地域を中心とした人々の暮らしと魚介類との関係を取り上げた展覧会を開催します。

財源内訳：

（諸） 30万円

（一） 198万円7千円

○継続 永原御殿跡の国史跡指定に向けた調査と文化財保全事業

：274万7千円（前年度：419万2千円）

徳川家康・秀忠・家光、三代の将軍が上洛する際に専用宿館とした永原御殿跡について、国史跡の指定に向けて取り組みます。総合調査報告書を作成し、地権者の同意を得て国へ意見具申を行い、文化審議会に史跡の指定を諮ります。

財源内訳：

（国） 125万円

（一） 149万7千円

○継続 兵主神社本殿保存修理事業：640万4千円（前年度：1,489万8千円）

市指定有形文化財の兵主神社本殿は、寛永20年（1643）に建造された規模の大きな一間社切妻造の珍しい社殿形式の建造物です。平成31年度に行う檜皮屋根葺き替え工事等に対し事業補助を行います。年度内の事業完了により、将来にわたり保存継承を図ります。

財源内訳：

（一）640万4千円

**◎新規 大笹原神社防災施設工事事業：460万4千円**

国宝大笹原神社本殿、重要文化財大笹原神社境内社篠原神社本殿（餅の宮）などの社殿がある大笹原神社の老朽化した防災施設の大規模改修事業に対し補助を行います。

エンジンポンプの取替えや防火水槽の改修、赤外線炎感知器による自動首振り放水銃の設置や易操作消火栓の設置、緊急通報設備の設置など警報設備・消火設備の改修工事を図り、国宝・重要文化財建造物を火災等から守り、将来にわたって保存継承を図ります。

財源内訳：

(一) 460万4千円



# 元気な学校・園づくり

(幼稚園・小中学校の取組)



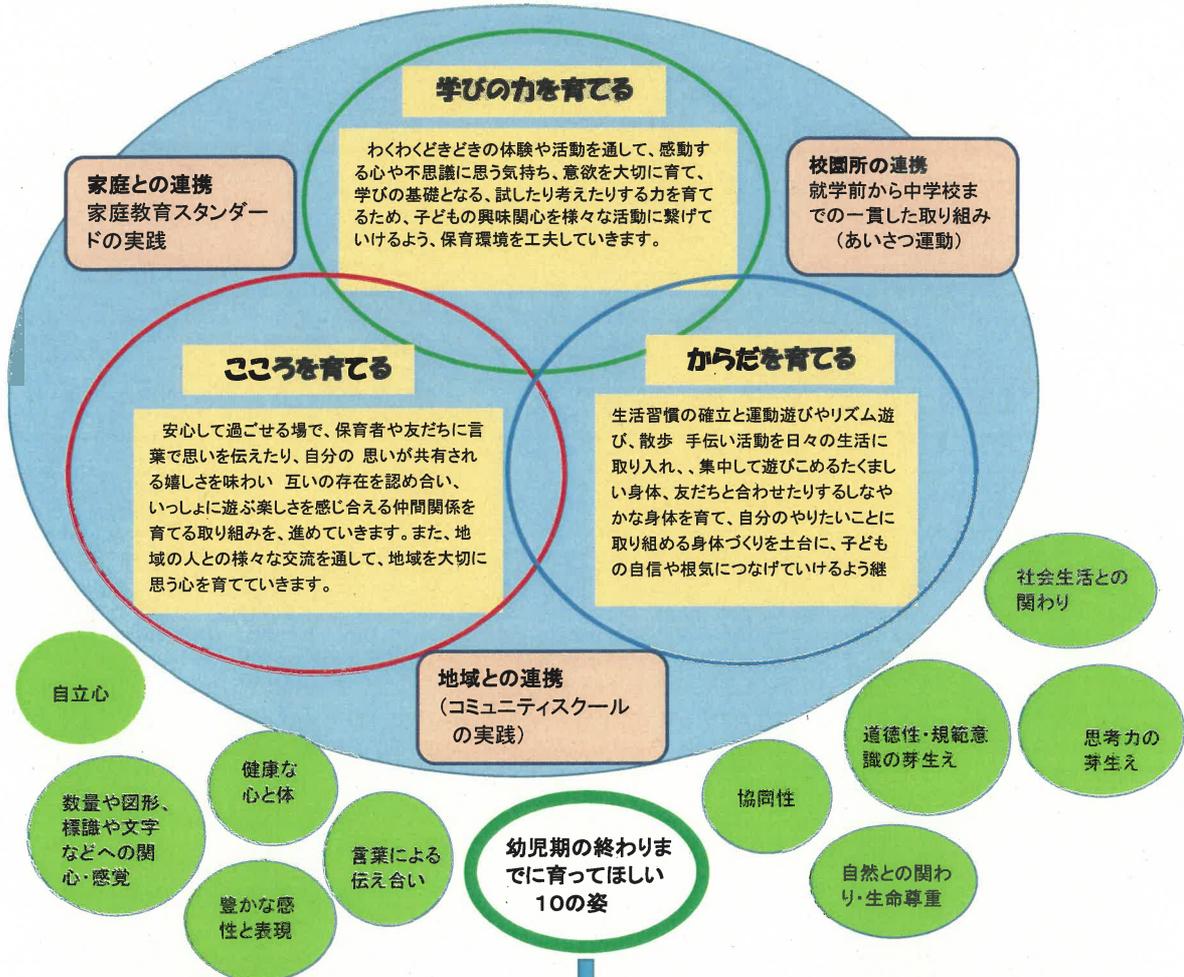
# 幼小中12年間の教育目標

## 「自ら考え、未来を生きぬく中主っ子の育成」

心豊かで たくましく 生き生きとした子どもの育成（園教育目標）

めざす子ども像

自分で考え、行動する子ども    自分にも人にもやさしい子ども    元気にあそぶじょうぶな子ども



1年生の昇降口を体験

**小学校へのなめらかな接続**

実際に小学校に行って体験することで、不安が少なくなり、小学校への期待が高まります。また、学習内容のつながりについても、職員間で話し合い、幼稚園から小学校へのスムーズな接続を進めています。



1年生生活科の授業で交流



**地域の方との交流**  
さつまいもの苗うえ、いもほり、じゃがいも植え、三上山登山サポート、もちつきなどさまざまな体験のお手伝いをしていただいています。色々な方との出会いを大切にしています。年度末には、感謝の気持ちをこめて、『ありがとうの会』を開催しています。



**自然体験を通して感じる・ためす・工夫する力を育てる**  
自然体験の中で、見る・触る・匂いをかぐ・聞く・味わう... 五感を通して感じたことが、学びへの意欲につながります。



**言葉で伝えあう力の育成**  
生活体験を遊びに取り入れ、友だちと役割分担したり、必要な言葉を覚え、やりとりしながら、社会のしくみに興味を持ち自分たちで進めていく楽しさを体験していきます。また、異年齢と関わることで、親しみやあこがれの気持ちを育てています。



教育目標 たくましさとやさしさをもつ子どもの育成

3つのめざす子ども

①のびのびと  
たくましい子ども

しっかり寝て、食べて、遊び、  
しなやかな心と粘り強く頑  
張る子どもをめざします。  
-基本的な生活習慣の確立



手をあらおう

しなやかな身体

②自ら考え  
行動する子ども

主体的、意欲的に、環境に  
関わり、自ら考え、行動しよ  
うとする子どもをめざします。  
-学びに向かう力の基礎



大きいあわが  
ふきだした!

学びに向かう力

③人を大切に  
する子ども

人と関わり、豊かな感性と、  
表現力を身につけ、互いに  
認め合える子どもをめざし  
ます。



順番をきめよう!

ゆたかな心  
(自尊心)



私たちのステージよ!

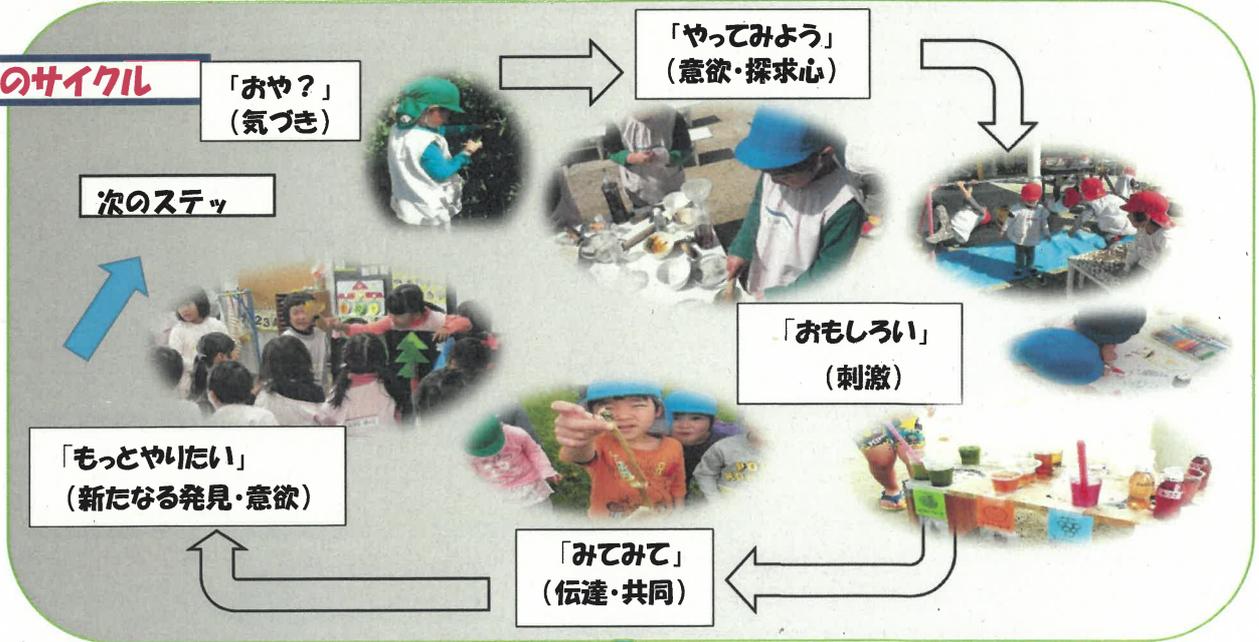
重要目標

幼児にとって、遊ぶことは、学ぶこと!

「主体的、対話的で深い学びにつながる遊びを求めて」(園内研究主題)

語り合おう! 認め合おう! 高め合おう! 環境を通したゆたかな遊びの場の保障

遊びのサイクル



小学校以降の学びつなげていく(学びの連続性)  
※幼児期の終わりまでに育ててほしい姿は、3歳、4歳、5歳それぞれの時期の発達の積み重ね



# 祇王を愛する心豊かな子どもの育成

## めざす子ども像

丈夫な子・・・しっかり寝て食べて遊び、しなやかな心と身体をもつ子ども

やさしい子・・・人とかわり人の思いに気づく豊かな感性と表現力を持つ子ども

考える子・・・周りの環境に好奇心や探究心を持って関わり、自ら考え行動する子ども



★めざす子ども像を図に示し  
具体的実践を日々の写真掲示  
やたよりで保護者、地域に啓発  
しています

幼児期の終わりまでに育ってほしいこと

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量・図形・文字等への関心・感受
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

### からだ

生活習慣の確立と運動遊び、散歩リズム体操、おてつだい活動を日々の生活のなかにもとりいれて、集中して遊びこめるたくましくしなやかな身体を育みます

### こころ

四季を通じた地域めぐり遠足で自然や文化にふれる機会を持ち、豊かな感性を育て、さまざまな活動や体験を通して、人とかかわる楽しさを感じ、自分も友だちも大切に思う心を育みます

### 学びの力

わくわくする遊びの体験の中で、気づいたり考えたり試したり工夫したりして意欲的にとりくみ、主体的、対話的で深い学びの基礎を育みます

## 子どもの主体的な遊びを支える環境と支援



友だちや先生とのやりとりを楽しめるように



友だちと思いを伝え合ったり相談したりしながら一緒に遊ぶことを楽しめるように



身体のいろいろな部位を使って思いっきり身体を動かして遊ぶ心地よさが感じられるように



感触、においなど、五感を通して豊かに感じながら遊べるように



考えたり試したり工夫したりしながら、くり返し楽しめるように



# 野洲市立北野幼稚園



## 教育目標

心豊かでたくましい子どもの育成

明るく元気な子

友だちと共感できる子

よく見よく考えて行動できる子

豊かに感じる心をもつ子

### からだ育て

毎日の生活の中で基本的な生活習慣を身につけます。運動遊び、リズム体操、そうじ、お手伝いなどを日々の活動に取り入れ、遊びや生活に意欲的に取り組み、最後までやりきる自主自立の力としなやかな心と体を育てます



#### おそうじ活動

毎日の積み重ねが子どもたちの身体作りの基礎になります

すくすく

わいわい

### なかま育て

認め合える関係を育み、安心して自分の思いや考えを表現できるようにします。共感しあい、共同で遊ぶ楽しさを感じられるような経験を積み重ねながら多様な考えを知り合い、受け入れながら互いを大切にする気持を育てていきます。



#### おみせごっこ

異年齢交流でいろいろな人と関わる力を育てます

### こころ育て

周りの人たちから見守られ、自分が大切にされている実感と、いろいろなことに心を動かす活動や体験を通して得た自信を基盤にし、自分のことも友だちのことも大切にする心を育てます。



#### なかよし集会

自分が生まれてきた喜びを感じられるよう命の誕生について、考え合います。

ほかほか

わくわく

### 学びに向かう力

「おもしろそうだな!」「やってみよう」「どうすればいいかな?」「できた!」子どもたちが試したり、工夫したりして主体的・意欲的に環境に関わって遊ぶことは、学びに向かう力につながっています



#### 色水あそび

白い花の色水を作ってみよう!

好奇心や探究心は、学習に向かう力につながります

夢中になって遊びこむ中で、いろいろな人・もの・ことに出会い、感性豊かな心・しなやかな身体・認め合える仲間を育てていきます



### PTAサポーター活動

保護者の方に行事や活動のサポートなどお手伝いをいただき、共に子どもたちを見守っています



### 命について考える

食育活動や飼育活動を通して命について考えています



### 地域の方から学ぶ

地域の方から野菜作りを教えていただいています。

# ゆきはたこども園



**教育(保育)目標**    **たくましく、心豊かな子どもを育てる**  
**めざす子ども**    **げんきな子・やさしい子・かんがえる子・がんばる子**

## チームゆきはたこども園の保育実践

### 元気いっぱい

- ・家庭と連携し、基本的な生活習慣を身につける。
- ・保護者と連携し元気な挨拶を習慣づける。
- ・運動遊びを豊富にして0歳から就学前までの系統的な体力づくりをする。



### 笑顔いっぱい

- ・安心して園生活が送れるようにし、自分やまわりの人が大切な存在だと感じられるようにする。
- ・好きな遊びや活動があり、見通しや自信をもって活動し、満足感や達成感を重ねる。



### 好奇心いっぱい

- ・地域の自然の中で五感を十分に働かせて遊ぶ。
- ・主体的に環境にかかわって遊び、科学的なものの見方の基礎と学びへの意欲を育む。
- ・命の不思議さや大切さに気づく経験を積む。



### 友だちいっぱい

- ・認め合える関係を育て、自分の思いや考えを表現できるようにする。
- ・多様な出会いを経験する中で違いを豊かさにとらえられるようにする。
- ・共感しあい、共同で学ぶ楽しさを感じられるようにする。



## 主体的に環境にかかわって遊ぶ活動を通して学びの芽生えを育む

### チャレンジ1

全12クラスの研究保育による、子どもが主体的に環境に関わって学ぶ保育の充実をめざす実践研究を行う。

### チャレンジ2

園児の体力向上委員会の取り組み、たくましい子どもを育てる取り組みを通し、園児のけがの前年度比10%減少の実現をめざす。

### チャレンジ3

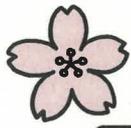
絵本プロジェクトの取り組みをスタートし、絵本の計画的な購入や修理点検を推進し、図書環境の整備拡充を図る。

### チャレンジ4

全保護者との個別面談、自由参観や給食参観を実施し、保護者連携を強化する。

### チャレンジ5

地元老人会様との継続的な交流を通して多様な関わりを豊富に経験できる機会を設ける。



# さくらぼさま幼稚園(さくらぼさまこども園)



## 教育(保育)目標 **たくましく心豊かな子どもの育成**

- 元気な子ども
- 自分で考え行動する子ども
- 優しい子ども
- がんばる子ども

### からだそだて

- \*健康な心と体
- \*自立心(基本的生活習慣の確立)

同年齢・異年齢の友だち、世代間交流などさまざまな人との出会い、かかわりを大切にします。

### こころそだて

- \*自然との関わり・生命の尊重
- \*思考力の芽生え(確かな学力)
- \*豊かな感性と表現

### なかまそだて

- \*協同性・道徳教育の充実
- \*言葉による伝え合い
- \*社会生活との関わり

自然豊かな桜生史跡公園に近く、四季を通じて、地域の自然資源を生かし活動します。

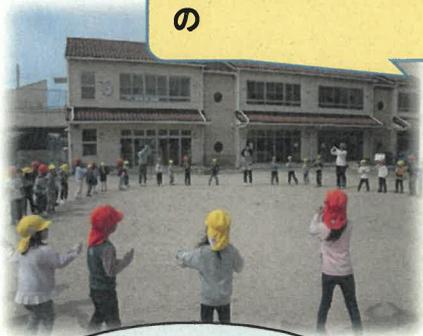
自分が大事にされているという実感と、体験を通じた自信を基盤にして、自尊心を育みます。



## 生きる力の基礎

## 学校教育への円滑な接続

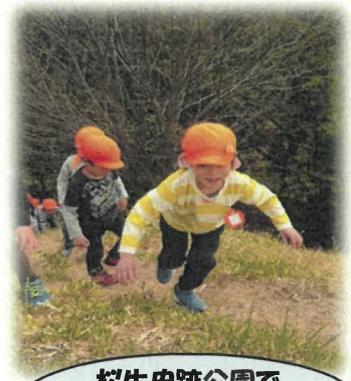
遊びや生活のいろいろな場面で、基礎体力の



わくわくひろば  
(異年齢交流)



おそうじマラソン  
(5歳児)



桜生史跡公園での自然体験



地域に開かれた園づくり



地域の老人会の方と、年間を通して様々な交流を持っています。



主体的に環境に関わり、感じたり考えたり伝え合ったりしながら学びに向かう力を育みます。

# 三上幼稚園 (三上こども園)



## 教育 (保育) 目標 豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

元気な子    考える子    やさしい子    がんばる子

民生員児童委員さんは  
こままわしがとても上  
手だね



### 健康な身体づくり

運動遊び・リズム遊び・園外保育など  
・身体をいっぱい動かして遊ぶの大好き!  
・できるかな やってみよう



三上山登山  
頂上から幼稚園が見えたよ!

### 豊かな心づくり

地域の人や自然とのふれあい  
悠紀の里、びわこ学園の方とのふれあい  
・いろいろな人とかわり、自然と遊ぶ  
ことが楽しい  
・みかみだいすき



田植え、稲刈り体験  
難しかったけど楽しかったよ

### 認め合える仲間づくり

友だちとかかわる楽しさを感じ、  
自分も友だちも大事にできる  
・友だちと遊ぶと楽しいよ  
・友だち大好き



毎朝みんなでふれあい遊びや体操をするよ

『知識および技能の基礎』 『思考力・判断力・表現力の基礎』 『学びに向かう力・人間性など』

# 篠原幼稚園（篠原こども園）



## 教育（保育）目標

**心身ともに健康で感性豊かな子どもの育成**  
 ～自分が好き・友だちが好き・自然が好き～

**からだそだて**  
 健康な生活習慣を身につけ、自信や意欲をもって、さまざまなことにかかわれる子どもを育てていきます。運動遊びや自然豊かな里山への散歩などを通して、子どもの体力づくり、からだづくりに取り組んでいきます。

豊かな感性と表現

自然とのかかわり  
 生命尊重

**こころそだて**  
 地域の人や自然とのふれあいを通して、人とかわる喜びや人と環境のつながりについて知り、たくさんの人たちから見守られていることの安心感を得て、子どもたちに豊かな心と感性をはぐくんでいきます。

健康な心と体

自立心

思考力の芽生え

道徳性  
 規範意識の芽生

協同性

**なかまそだて**  
 毎日の遊びや生活の中で「友だちと一緒にいると楽しいな。」「〇〇ちゃんのこんなところが好き」と友だちとかかわる楽しさ、心地よさを感じてほしいと願っています。安心して自分の思いを伝え、相手の思いも受け入れて、互いに認め合い高めあう仲間を育てていきます。

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による  
 伝え合い

社会生活との関わり

全園児と一緒に「おひさま会」で、朝の体操やふれあい遊びを楽しんでいます。



じっくり共同作業所の方と交流会をしました。作業所にお伺いして作業体験もさせていただいています。

平成31年度(2019年度) 中主小学校の教育

児童数 681名  
学級数 29学級  
教職員数 60名  
(4月1日現在)

中主学区統一教育目標 自ら考え、未来を生きぬく中主っ子の育成  
学校教育目標

めざす学校像

『地域に信頼される学校』  
・学校と家庭、地域が連携し、「育てたい子ども像」を具現化していく学校  
・子ども、教師、保護者が元氣な学校

今年度の重点目標 (3つの挑戦)

- 話をしっかり聞き、児童に学ぶ力をつける
- 仲間を大切にし、学校が楽しいと感じる児童を増やす
- 気持ちの良いあいさつができる児童を

めざす教師像

『夢・元氣・笑顔を大切にできる教師』  
・学び続ける教師  
(OJTを推進し、教師力向上に努める)  
・子どもの話を聞く・聴く教師  
(子どもを多面的に理解する)  
・子どもが育つ授業のできる教師  
(「主体的・対話的・深い学び」を目指した授業改善に努める)

あいことば

「ちゅうず」

- ち 中主を誇り、伝統を大事にする
- ゆ 夢を持ち、未来のために努力する
- う 美しく、うれしい挨拶をする

まなびプロジェクト部会 かんがえる子

授業・家庭学習における学力向上のための取組の充実

- 挑戦1 勉強がわかる児童 95%
- <具体的方策>
- 1 主体的・対話的で深い学びをめざして
    - ・ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れる
    - ・キャリア教育の視点で授業を見直し、自ら学ぶ姿勢(主体的な学習)を向上させる
    - ・【「中主っ子」学びのスタンダード】を小中で共通実践する
    - ・教科担任制や交換授業を取り入れる
  - 2 基礎・基本の徹底
    - ・のびこタイム(算数科)をより充実させる
    - ・スキルアップタイムの内容を工夫する
    - ・読書環境を整える(含む朝読書)
  - 3 家庭学習の充実
    - ・宿題で学習内容の習熟を図れるよう、内容や量を考える(やりきらせる指導)
    - ・「家庭学習がんばり週間」の指導を徹底する

校内研究

研究テーマ  
人と豊かにかかわる力を備えた子どもの育成  
サブテーマ  
深い学びにつなげる主体

こころプロジェクト部会 やさしい子

全ての教育活動の中で人権同和教育を

- 挑戦2 学校が楽しくないと感じる児童 0%
- <具体的方策>
- 1 仲間づくりと言葉に重点をおいた取組
    - ・職員室への入室時、友だち同士目上の人への言葉遣い等の正しい使い分け
    - ・名前の大切さを確認する
  - 2 部落問題学習・共通教材の検証
    - ・部落問題学習に繋ぐ1年～5年までの系統性のある学習計画の確認
  - 3 特別支援理解教育のさらなる推進
    - ・特別支援学級での学びの理解
    - ・交流学級での積極的な活動
  - 4 ふたば学級

マナープロジェクト部会 げんきな子

教職員の共通理解と同一歩調の指導

- 挑戦3 あいさつをしっかりする児童 90%
- <具体的方策>
- 1 安全な学校生活
    - ・廊下の右側歩行
    - ・安全な登下校への指導
    - ・地域の方の見守り(スクールガード)との連携強化
  - 2 気持ちのよい挨拶
    - ・児童会活動での挨拶運動
    - ・家庭との連携
  - 3 生徒指導の組織対応の確立を目指す
    - ・全教職員が共通理解し、課題を共有
    - ・いじめ事象の対応を確認し、終結までの見守りを徹底する。

めざす子ども像

- かんがえる子(知)  
<思考、創造のたくましさ>
- やさしい子(徳)  
<心情、徳性のたくましさ>
- げんきな子(体)  
<気力、体力のたくましさ>

小中連携から小中一貫教育へ

- 【「中主っ子」家庭教育スタンダード】の活用啓発  
中学校・幼稚園・保育所との連携強化
- 小中連携部会の充実  
小中合同研修会の実施  
系統的な教育課程の検討
- 幼小の円滑な接続

キャリア教育で育む力

- ①人間関係形成能力・社会形成能力
- ②自己理解・自己管理能力
- ③課題解決能力
- ④キャリアプランニング能力

家庭・地域との連携

- 学校からの情報発信 学校だより、HP、等
- 地域の力を学校に(地域に学ぶ・地域を学ぶ) PTA 学校評議員さん 学校応援団さん スクールガードさん...等



野洲市立 野洲小学校 わが校3つの挑戦(ミッション)



# 野洲市立三上小学校 平成31年度（令和元年度）取組の重点

**学校教育目標** やさしく、かしこく、たくましく生きる三上っ子の育成

## めざす子どもの姿

- やさしい子（豊かな心）
- かしこい子（確かな学力）
- たくましい子（健やかな体）

## 学校経営のコンセプト

- 子どもたちが元気に生き生きと学ぶ学校
- 教職員が深刺として力を発揮する学校
- 家庭・地域の活力がみなぎる学校

## 第1チャレンジ～「やさしい子」の育成をめざして～

◎「学級や学校をよくするために、進んで考えたり行動したりすることができる子ども」の割合を90%以上にする。（※よくできる子どもの割合を60%以上に）

- ①いじめ根絶をめざす特別活動の推進
  - ・児童会「三上っ子会議」、思いを出し合える学級
- ②道徳科や人権学習の推進
  - ・考え議論する道徳、「ストップいじめ学習」
- ③地域の人・自然・文化に学ぶ時間の推進
  - ・地域人材の活用、学校応援団の充実



〈児童会・あいさつ運動〉

### ◇3UP運動（やさしさUP）

あいさつ、お手伝い、やさしい言葉遣いなど

## 第2チャレンジ～「かしこい子」の育成をめざして～

◎「学習のときに、進んで考えたり話し合ったりすることができる子ども」の割合を90%以上にする。（※よくできる子どもの割合を60%以上に）

- ①主体的・対話的に学び合う授業の推進
  - ・「深い学び」を実現する対話的な授業
- ②基礎・基本の定着を図る授業等の推進
  - ・「学習の心得」、学びの反復、朝学習・補充学習
- ③ICTの効果的な活用の推進
  - ・「対話的な授業」「わかる授業」への活用



〈理科・班での話し合い〉

### ◇3UP運動（かしこさUP）

家庭学習の取り組み方について

## 第3チャレンジ～「たくましい子」の育成をめざして～

◎「体力づくりに向けて、進んで運動に取り組むことができる子ども」の割合を90%以上にする。（※よくできる子どもの割合を60%以上に）

- ①体力づくりの充実を図る時間の推進
  - ・「体力アップタイム」、「ロング昼休み」
- ②健康づくりに向けた保健指導や食育の推進
  - ・歯みがき指導、食に関する指導の充実
- ③自ら命を守る安全・防災教育の推進
  - ・多様な「避難訓練」、体験的な「交通安全教室」



〈マラソン大会〉

### ◇3UP運動（たくましさUP）

早寝・早起き・朝ご飯、運動、歯みがきなど

# 平成31年度 祇王小学校の教育

## 学校教育目標

～愛とかがやきのある教育のまち・野洲～ 我が校の3つの挑戦

夢いっぱい 元気いっぱい 笑顔いっぱいの祇王っ子

～ 夢をもち 仲間とともにがんばる たくましい子どもの育成 ～

**特色1** 祇王小学校は、夢いっぱい 元気いっぱい、笑顔いっぱいの子どもの育成をめざして、**アルマジロ運動**を核にした教育活動を展開しています。

**特色2** 学校応援団、教育後援会、妓王まちづくり推進協議会等の支援をいただき、学校大好き・祇王に誇りをもつ教育を進めています。

確かな学力を身につける取組を行います。

(各授業で学びの6ルールの徹底)

目標児童評価 100%

(授業がよくわかる)

目標児童評価 95.0%

挑戦1

夢

確かな学びづくり

学びの6ルール  
・しっかり聞く  
授業がわかる

祇王の自然、文化、歴史、人材を活用した、「本物から学ぶ」「体験を通じて学ぶ」教育の充実を図ります。

(学校応援団との連携による体験活動  
全学年実施)

目標実施率 100%

教科指導・体験活動・  
クラブ指導等

授業風景



挑戦2

元気

たくましい心と体づくり

自らすすんで心と体を鍛える子どもを育て

ます。(あかるくいつでもさきにこづける

あいさつ運動) 目標児童評価 95.0%

(集団あそびや運動習慣づくりで体力向上)

目標児童評価 95.0%

あいさつ  
なわとび  
ラジオ体操  
鬼ごっこ等

ドッジボール



## アルマジロ運動

アルマジロは祇王の伝統に!

◎あいさつをすすんでしよう

◎ルールを守ろう

◎まっすぐ靴・スリッパをそろえよう

◎じかんを守ろう

◎ろうかは右側を歩こう

目標児童評価 100%

目標教員実施評価100%



挑戦3

笑顔

心豊かな仲間づくり

自尊感情を高め、友だちを思いやり大切にできる学級・学年・学校にします。

(笑顔あふれる学級経営・よいところを見つけあえる学級づくり) 目標教員評価 90.0%

(友だちにおかしいことはおかしいと言える子どもの育成) 目標児童評価 85.0%

人権尊重イメージ  
キャラクター  
ふーちゃん



協働・学社連携・学校支援 ⇔ 祇王のよさを知り、地域に誇りをもつ児童へ

「ありがとうの気持ち」を大切に・・・スクールガードさんへ

「よろしく願いますの会5月」・「ありがとうの会2月」、

「学校給食感謝週間1月」、「子育て報告会地域へ発表1月」、

「学校応援団の皆さんとの学習」

「ぎおう」に誇りをもつ取組を・・・「昔あそび:1年」、「まち探検:2年」、「祇王のおすすめを探そう:3年」、

「レッツジュニアボランティア:4年」、「ほほえみ祇王米:5年」、

「歴史たんてい団:6年」、「季吟さんコンテスト:全校」



# 平成31年度 篠原小学校 3つの挑戦

「校訓」  
ほのかなれど  
灯消えじ篠の原

「いっしょが楽しい」学級・学年・学校  
～仲よく 元気に 学べる 篠っ子～  
〈合い言葉〉「好きです、篠原」

—めざす子どもの姿—  
自ら学び、考える子  
みんなと力を合わせる子  
たくましい心と体をもった子  
地域や学校を大切に子

篠原小学校では、「仲よく 元気に 学べる 篠っ子」を重点目標とし、人と人が豊かにつながり合い、一人ひとりの子どもが「学校に来るのが楽しい」と思える、元気な学校づくりを目指します。

## 挑戦1 まなび 自ら学び、考える子の育成

「学習中、自分の考えを話すのが好きな子ども」の割合70%以上をめざします。



- ・主体的・対話的で深い学びを推進する授業改善(校内研究)
- ・一人一授業公開による授業力向上
- ・スキルアップタイム・ノート指導による基礎学力の定着
- ・論理的に考え伝え合う力を高めるためにペア学習やグループ学習等子ども同士が互いに学び合い学習の工夫
- ・読書活動・読書環境の充実
- ・「家庭学習がんばり週間」の設定と「家庭学習の手引き」の活用による家庭学習の定着
- ・学校図書館を活用した授業づくりの研究

## 挑戦2 ころ みんなと力を合わせる子の育成

「学校が楽しい子ども」の割合を100%に近づけます。(楽しくない0%をめざす)



- ・話し合い活動や体験的活動を活かした道徳の授業づくり
- ・主体的・自治的な行事、児童会活動の活性化
- ・自己有用感を高め、互いを認め合い自尊感情を高める集団づくり
- ・「ストップじめアクションプラン」に基づくいじめをさせない生徒指導
- ・差別を見抜き、差別を許さない子を育てる人権教育の実践
- ・障がい児・者理解教育の推進
- ・「地域に学ぶ・地域の方と学ぶ」特色ある生活科や総合的な学習の時間の実践
- ・「篠っ子の合い言葉」を活用し、気持ちのよい生活をめざす

## 挑戦3 からだ たくましい心と体をもった子の育成

「新体力テスト」で全種目県平均以上をめざします。



- ・篠原リンピック（10分間運動）の充実
- ・新体力テストの結果分析による体育科の授業改善（長座体前屈、上体起こし、ボール投げ、体幹トレーニング等）
- ・マラソン大会の実施
- ・「残食0」をめざした給食指導
- ・健やかな体と豊かな心の育成を図る保健指導
- ・家庭・地域・関係機関等と連携した防災教育（引き渡し訓練）
- ・学校安全体制整備を目指した職員研修、安全点検の実施
- ・SG等、家庭や地域と連携した登下校時の安全確保

人との出会い、地域の自然や文化との出会い、体験的活動を大切にした教育の充実をめざします

しのっこ応援団

篠竹同窓会

篠原こども園・野洲北中学校等との教育的連携

- ・篠原焼陶芸体験
- ・篠原糯栽培「篠原糯を育てよう」
- ・大豆栽培「大豆はかせになろう」
- ・読み聞かせ・図書室整備
- ・野洲養護学校との交流
- ・5・5交流
- ・昔遊び 等



# 合い言葉 「北野が好き」「仲間が好き」「学校が好き」

野洲市立北野小学校

学校教育目標 郷土を愛し、互いに高め合う、伸びやかな子どもの育成

<p>めざす子ども像</p> <p>(知) よく考える子 (徳) ひとにやさしい子 (体) たくましく元気な子</p>	<p>めざす学校像</p> <p>・子どもも教職員も元気に 生き生き学ぶ学校 ・家庭、地域と歩む学校</p>	<p>めざす教師像</p> <p>・子どもに寄り添う教師 ・学び続ける教師 ・信頼される教師</p>
---	--	--

## 元気な学校づくり 北野小学校 3つの挑戦

「読み解く力」に重点を置いた、子ども一人ひとりの「学ぶ力」の育成

### 挑戦1：学びを実感できる授業づくり……………「考えることが楽しい」子 (80%以上)

- ・子ども一人一人の学びの状況に応じた指導の充実…個別指導計画・教育支援計画
- ・主体的・対話的で深い学び……………子どもが思わず考えたい授業づくり
- ・基礎的・基本的な知識・技能の……………学びの足跡がわかるノート指導、ICTの指導の徹底 (学びの姿勢づくり)

北野っ子の学習6つの約束  
朝学タイムによる言葉の学習の積み上げ  
体力アップタイム

- ・家庭地域と連携した生活習慣や学習習慣の定着……………家庭学習の手引きによる学習習慣の定着
- ・読書活動の充実……………読書タイム、学校図書館の活用、図書ボランティアによる読み聞かせ

### 挑戦2：学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり……………いじめのない安心な学校づくり (80%以上)

- ・互いの違いを認め合い、自分の考えや思い……………「ストップいじめアクションプラン」に  
を安心して表現できる学級経営
- ・基本的な生活習慣、学習規律の指導の徹底……………「北野のきたきつね」運動  
「さすが」北野っ子清掃活動
- ・思いやりの心を育む道徳教育……………「考え議論する」道徳科公開授業 (年1回)  
命・人権を大切にすると人権学習
- ・体験活動を通した豊かな人間性や人間関係……………地域の方との交流活動や地域探検等、北野  
を築く取り組みの充実

縦割り活動(群れ遊び)、人権週間・人権集会

### 挑戦3：子どものために一丸となって取り組む学校づくり……………わが校の学ぶ力向上策推進 (80%以上)

(学校全体で組織的に実践する取組の推進)

- ・全国学力・学習状況調査の結果をもとにした「わが校の学ぶ力向上策」の策定
- ・校内研究……………「考えることを楽しむ子どもをめざして」の授業の創造  
P D C A サイクルによる継続的な授業改善
- ・O J T……………全ての教員の指導力向上
- ・開かれた学校づくり……………有効性の高い学校評価・学校評議員会の充実
- ・関係機関等との連携……………SSW・S Cによる教育相談の充実、ケース会議、巡回相談  
安全・防災教育の充実 (避難訓練、交通安全教室の充実)

**【中主幼小中一貫 教育目標】 自ら考え、未来を生きぬく中主っ子の育成**  
**【中主中学校 教育目標】 心豊かでたくましい知徳体の調和のとれた生徒の育成**

**【目指す学校像】** 校訓「質実剛健」の校風のもと、社会的自立を目指し、心豊かでたくましく  
 生きる生徒の育成に努める

- ・あらゆる場面で切磋琢磨する学校づくり
- ・社会的自立に向けた意欲や態度づくり
- ・学力の向上、主体的な学びの姿勢づくり
- ・規範意識の向上、認め合う人間関係づくり

**【めざす生徒像】**

- ・知る喜びをもつ生徒（知）
- ・思考する生徒
- ・感動する心をもつ生徒（徳）
- ・思いやりのある生徒
- ・自らを鍛える生徒（体）

**【目指す教職員像】**

- ・教育に信念をもち、判断力のある教職員
- ・授業力向上に努める教職員
- ・冷静な姿勢と温かな言葉で生徒に向き合い寄り添う教職員
- ・命・人権・法を大切にし、信頼される教職員

**【今年度の重点項目】**

**I 生きる力を育む教育の推進（実践力のある自律した生徒の育成）**

① 基本的な生活習慣の確立

- ◎ あいさつが飛び交う学校づくり
- ◎ 発達段階に応じた自律した生活習慣の育成（「中主っ子家庭教育スタンダード」に即して）
- ◎ 心で磨く清掃活動

② 命、人権、法を尊重する態度の育成

- ◎ 「命、人権、法」を自律的に守り、互いに高め合える生徒の育成
- ◎ 人との出会いを大切に、心に響く人権教育の充実
- ◎ 心を育む「特別な教科 道徳」を要とした道徳教育の改善と充実
- ◎ いじめをしない、許さない生徒の育成



③ 学力の向上の充実（「中主っ子学びのスタンダード」に即した取組）

- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのキャリア教育の視点を踏まえた学び合い学習、特別な支援を要する生徒に配慮した「わかる授業」の展開
- ◎ 自律的な学習を目指した学習方法の支援（ノート指導、家庭学習の方法支援）
- ◎ 補充的な学習機会の充実（長期休業、放課後、支援ボランティアの積極的活用）
- ◎ 幼小中連携を活かした発達段階に応じた継続性のある授業スタイルづくり
- ◎ 活発に発表や質問ができる学習環境づくり（学級集団づくり・コミュニケーション力の向上）

**II 教職員の資質の向上（生徒・保護者に深くかかわる先生）**

- ① 生徒に深くかかわる先生・・・生徒への適切・タイムリーな声掛けと見守り
- ② 保護者に深くかかわる先生・・・丁寧な対応、気軽に相談できる信頼関係の構築。
- ③ 信頼される先生・・・生徒の手本となれるよう、教師自らの姿勢で示し、授業や「命、人権、法」を大切に実践力を持ち、信頼される教師を目指す。予測不可能な未来社会に対応するための新しい教育課程の実践に向け、研修に積極的に参加し、研鑽に努め、指導力の向上を図る。

**III 地域と共に歩む学校づくり（地域と連携した学校づくり）**

- ① 地域行事への積極的な参加・・・◎学区民運動会、防災訓練、地域清掃等に参加。
- ② 地域に貢献する生徒活動の推進・・・◎積極的な地域貢献活動（全生徒年2回以上）
- ③ 情報発信の充実・・・◎学校だよりの配布、HPを利用した積極的な情報発信、地区別懇談会の実施等
- ④ 幼小中連携の深化・・・◎一貫校を目指した教育活動の計画、推進。生徒・保護者・地域への浸透を図る

## 3つのテーマ

### 学力(がくりよく)

### 人権(いのち)

### 環境(かんきょう)

OODA(オーダ)ループ  
 みる : Observe  
 わかる : Orient  
 きめる : Decide  
 うごく : Act  
 見直す/みこす : Loop  
 次へのステップ

### 人権尊重の風土づくり

- あたたかな生徒集団の育成
- 個に応じた指導支援の充実
- 積極的な生徒指導の展開
- ・人権同和教育、道徳教育の推進
- ・同僚性豊かな教職員集団の構築
- ・教職員研修の充実

「学校評価」  
 生徒が見せる姿  
 生徒保護者アンケート  
 教職員の評価  
 学力学習状況調査  
 「学校評議委員会」  
 「地域」・・・

### 授業改善の取組

- わかる授業の創造、実践
- 協働、交流を重視した実践
- 主体的な学びの構築
- ・授業研究、教科会の活性化
- ・OJTの積極的な推進
- ・授業規律確保のための実践
- ・ICTの推進

### 仲間づくりの促進

- 生徒の良さを信じ、伸ばす場の工夫と自尊感情を育む実践
- 真の生徒理解を目指す実践
- 生徒と共に汗を流し感動を共有できる教師像の追求
- ・体験的な活動の研究と実践
- ・交流の場を大切にした取組

## 3つのアクション(挑戦)

### 今年度の取組(力点)

- 新学習指導要領への対応
  - ・道徳の教科化
  - ・各教科の移行措置
- 積極的な生徒指導の展開

- 学力保障と授業改善
  - ・研究授業の活性化
  - ・校種間連携
- ・教職員研修の充実
- ・教職員の働き方改革の推進

- キャリア教育、ICT教育の充実
- 人権教育の充実、確かな実践
- ※生徒と向き合う時間の確保

出会いを大切にした人権教育

地域・保護者との連携

生徒理解に根ざした実践

教育目標：心豊かでたくましい生徒の育成

研究主題：反差別をつらぬく学級・学校づくり

仲間作り・集団を育てる体験的活動

積極的な生徒指導の推進

特別支援教育の推進

主体性ある生徒活動の推進

授業スタンダードの確立

人権学習・同和教育推進部会

特別支援・教育相談部会

生徒活動部会

生徒指導部会

### 学力保障部会

- 授業改善に係る視点・方向性・取組の提案
- 授業研究の計画と実践
- 生徒集団の実態把握と指導支援に係る情報発信

- 校内研究の法
- ①自分を見つめ、仲間を理解し、お互いかけがえない大切なものと感じあえる集団
  - ②自ら学ぶ意欲、自学自習の学習習慣確立をめざす学力保障の取組
  - ③さまざまな立場の生徒に、生活を見つめ望ましい生活を創造する力を育てる生徒支援の取組
  - ④自分と差別問題の関連を軸に、さまざまな人権問題について考え、生き方につなげる人権学習の取組
  - ⑤自分の困り感に向き合い、よりよい生き方をめざすための支援、相談をすすめる特別支援教育・教育相談の取組



## 3つの挑戦 2019 ~創造・成長・発展 そして新たな伝統へ~



### CHALLENGE 1 「知」の発展プロジェクト (授業づくり)

わかる喜びが実感でき、次への意欲につながる授業づくり

- ミスや失敗からの学びを大切にした授業づくりに努めます
- 授業の振り返りを工夫し、学習の確実な定着を図ります
- 弱み(「書く力」「読み取る力」)を克服する取組を推進します
- 努力が認められる評価の工夫に努めます
- グループ学習の工夫やアクティブラーニングを取り入れた授業を推進します (ICT 機器の積極的な活用)
- 家庭との連携による家庭学習の充実に努めます

【学校評価項目】→「2授業づくり」「3学習習慣(家庭学習)」満足度85%以上



### CHALLENGE 2 「仁」の発展プロジェクト (集団づくり)

課題や問題の解決に協力して取り組み、集団の成長を図る集団づくり

- 縦割り集団を活かした集団づくりに取り組みます (北中祭など)
- 一人ひとりが尊重される学級集団づくりに取り組みます (係り活動や班活動など)
- 学年集団づくりの充実に取り組みます (生徒が主体的に企画・運営する学年集会など)
- 仲間づくりの推進を図るための生徒会リーダーの育成を推進します (リーダー研修会の実施など)

【学校評価項目】→「6学校行事」「7人権教育」満足度85%以上



### CHALLENGE 3 「勇」の発展プロジェクト (活動づくり+体力づくり)

生徒が主体的に課題を見出し、解決に取り組む生徒会活動づくり

- 学校行事の企画や運営に生徒が主体的に参加します
- いじめをなくす活動の充実に努めます (いじめをなくす三か条(滋賀いじめ問題生徒会サミット)の推進)
- 地域貢献活動の充実に努めます (街を元気にするあいさつ運動、街をきれいにする地域清掃活動など)
- 学校と地域の双方向の連携による地域活動への参加を推進します (運動会や地域行事など)
- 生徒会専門委員会の特色ある活動に取り組みます
- 体力的な弱み(持久力)の克服に努めます (体育科、部活動など)

【学校評価項目】→「5基礎体力」「6学校行事」「11地域連携」満足度85%以上

チーム野洲北の合言葉 **心ひとつに 仲間とともに 自分の花を咲かせよう!**

毎日の学校生活を通して、〈教職員〉生徒に生きる勇気と夢を与えながら、〈生徒〉仲間とともに「自分の花」を咲かせるために努力する。やがて、一生懸命な姿は学校中に広がり、互いの頑張りを認め合い、さらには地域からも愛されるような「学校文化」を創り出す…。3つのCHALLENGE(「知」「仁」「勇」)で「仲間とともに自己実現」しよう。



# 資料編

野洲市の概要

教育委員会の仕組みと仕事

学校・園の概要

野洲市教育委員会の沿革



# 野洲市の概要

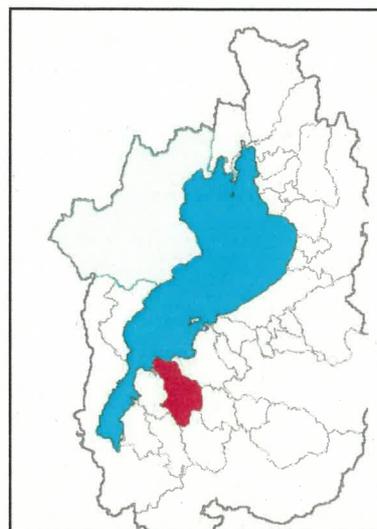
## 1. 市の沿革

野洲市は、平成16年10月1日に旧中主町と野洲町が合併して誕生しました。

## 2. 位置・地勢等

野洲市は、滋賀県の南西部に位置しています。近江富士と呼ばれる美しい三上山、そして野洲川や日野川を有しています。また、西は守山市・栗東市、南は湖南市、東は竜王町、北は近江八幡市、そして北西部は日本最大の湖である琵琶湖に接する面積80.14km<sup>2</sup>のまちです。

貴重な自然に恵まれた温暖な気候の中で、住民の心を和ませる素晴らしい環境を形成した、緑豊かで風光明媚な調和のとれた土地利用が図られています。中心部では京阪神のベッドタウンとして都市化が進む一方、山地、湖岸においては公園やレクリエーション施設が集積しており、地域内外から多くの人を訪れるまちです。



勇壮な「三上山(近江富士)」

さらに琵琶湖、野洲川をはじめとした水源に恵まれ、肥沃な土地を生かして古代から稲作が盛んで、近代化に向けた農業の振興と美しい田園風景保全の取り組みがされています。

また、豊かな自然と歴史に恵まれて、計24個の銅鐸が出土した「銅鐸のまち」としても知られています。数多くの古墳群や神社仏閣を有した歴史・文化遺産が点在するまちです。

以前から、利便性の高い交通網整備を背景として、京阪神都市圏への近接性が高まり、先端技術分野を中心とした企業立地が進んでいます。

### 3. 人口・世帯

平成31年4月1日現在の人口・世帯数は次のとおりです。

人口		51,080人
内訳	男	25,396人
	女	25,684人
世帯数		20,138世帯

野洲市 市民部 市民課 人口世帯集計表より



### 4. 市の面積

面積（都市計画区域等）内訳

総面積 80.14km <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域	7.748km <sup>2</sup> (都市計画区域に占める 構成比率：13%)
		市街化調整区域	52.812km <sup>2</sup> (都市計画区域に占める 構成比率：87%)
	湖沼（琵琶湖水面）		19.580km <sup>2</sup>

総務省統計局 全国都道府県市区町村別面積調より

滋賀県土木交通部都市計画課発行 滋賀の都市計画より

### 5. 市役所の位置

野洲市役所 滋賀県野洲市小篠原2100番地1

東経	136度1分32秒
北緯	35度4分02秒

総務省統計局 全国都道府県市区町村別面積調より



# 教育委員会の仕組みと仕事

## 1. 教育委員会の仕組み

### (1) 教育委員会とは

教育委員会は、教育の政治的中立性を保持し、学校教育や生涯学習等の振興を図るため設置された、市長から独立した執行機関です。

教育委員会は、教育長と4人の委員による合議制の機関となっています。

教育委員会は、次の3点を目的として設置されています。

- ① 政治的中立性・安定性の確保
- ② 地域住民の多様な意見を反映
- ③ 生涯学習などの教育行政の一体的な推進等

教育委員会の権限に属する事務は、教育委員会の会議によって処理することとなり、教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針等について審議し、決定しています。

### (2) 教育長・教育委員会委員

#### ① 任命

教育長は、人格が高潔で教育行政に関し識見を有するものの中から、市長が議会の同意を得て、任命されます。

委員は、人格が高潔で教育・学術及び文化に関し識見を有する者の中から、市長が議会の同意を得て、任命されます。

教育長の任期は3年、委員の任期は4年以内で、再任されることがあります。

#### ② 教育長と教育長職務代理委員

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表します。教育長職務代理委員は、教育長に事故があるとき、教育長が欠けたときは、あらかじめ教育長が指名する委員が教育長の職務を代行します。

#### ③ 教育長・教育委員会委員名簿

職名	氏名	教育長・委員としての任期
教育長	西村 健	平成30年4月1日 ～令和3年3月31日
委員 教育長職務代理者	小澤 郁乃	平成27年11月18日 ～令和元年11月17日
委員	荒川 眞知子	平成28年11月18日 ～令和2年11月17日
委員	立入 利晴	平成29年11月18日 ～令和3年11月17日
委員	瀬古 良勝	平成30年11月18日 ～令和4年11月17日

### (3) 教育委員会の会議

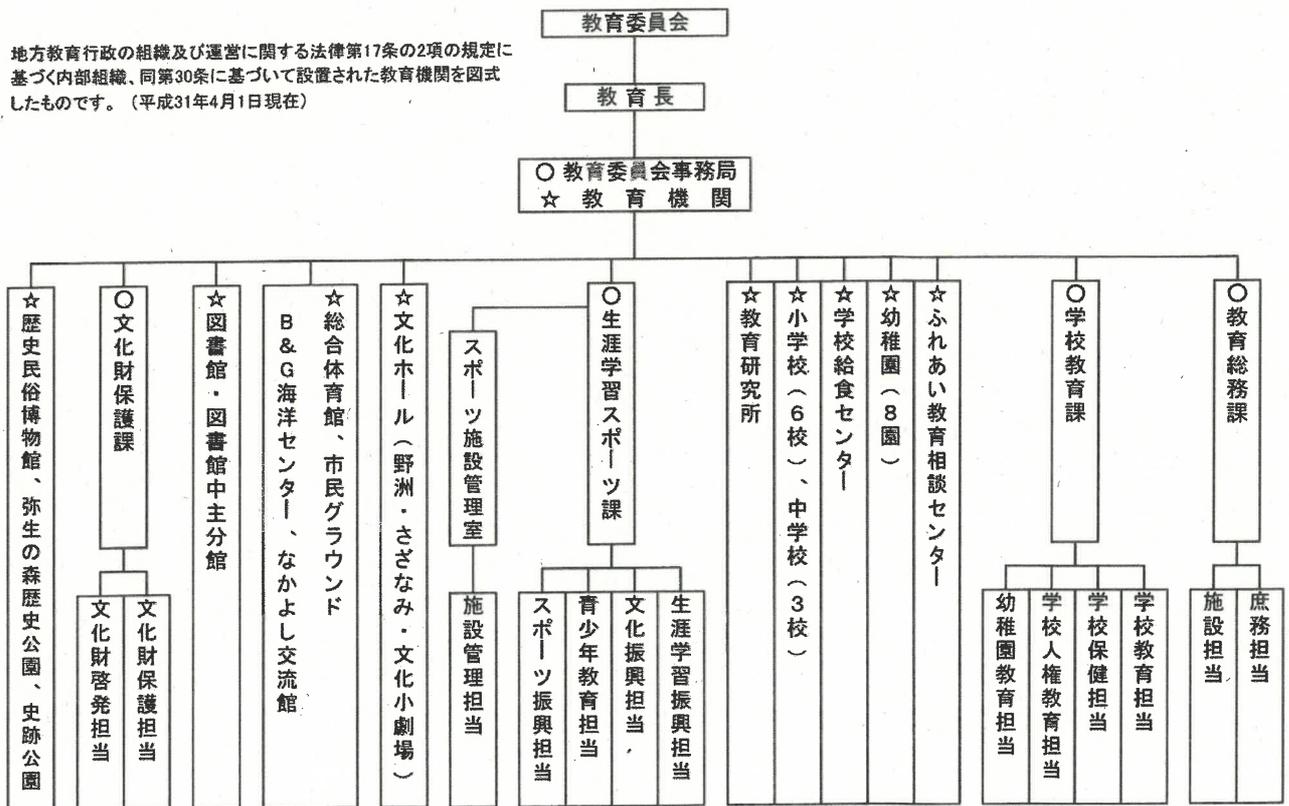
原則、毎月1回の定例会を、必要に応じて臨時会を開催し、市の教育行政に関する事項について審議を行っています。

## 2. 教育委員会の仕事

- (1) 学校の授業の研究・指導、生徒指導・進路指導、教師に対する指導
- (2) 学校などの教育施設の整備・管理
- (3) 教育委員会事務局・学校などの職員の人事
- (4) 生涯学習の情報や機会の提供、図書館や博物館の事業の企画・運営
- (5) 文化財の調査、保護、啓発
- (6) スポーツ事業の実施や指導、スポーツ施設の運営
- (7) 青少年の健全育成、文化芸術の振興
- (8) 人権に関する教育、啓発など

## 3. 教育委員会の組織図

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第17条の2項の規定に基づく内部組織、同第30条に基づいて設置された教育機関を図式化したものです。(平成31年4月1日現在)



#### 4. 教育委員会の組織表

教育委員会事務局					
所属名	担当等	所在地	郵便番号	電話番号	FAX番号
教育総務課	庶務、施設	野洲市小篠原 2100 番地 1 (庁舎別館)	520-2395	587-6014	587-3835
学校教育課	学校教育・学校保健・ 学校人権教育・幼稚園教育	同上	同上	587-6017	587-3835
生涯学習スポーツ課	生涯学習振興・文化振興・青少年教育・スポーツ振興	同上	同上	587-6053	587-3835
スポーツ施設管理室	総合体育館・海洋センター	野洲市富波甲 1339 番地 (総合体育館内)	520-2351	587-3477	587-3276
文化財保護課	文化財保護・文化財啓発	野洲市西河原 2400 番地 (北部合同庁舎内)	520-2423	589-6436	589-5444

教育機関等 (学校・幼稚園)					
機関名	名称	所在地	郵便番号	電話番号	FAX番号
市立幼稚園 (8園)	中主幼稚園	野洲市吉地 1120 番地 1	520-2413	589-2232	589-5941
	野洲幼稚園	野洲市小篠原 2142 番地 25	520-2331	587-1265	587-2062
	ゆきはた幼稚園 (こども園)	野洲市行畑一丁目 2 番 25 号	520-2341	588-3690	588-0802
	さくらばさま幼稚園 (こども園)	野洲市小篠原 200 番地	520-2331	588-0295	588-1257
	篠原幼稚園 (こども園)	野洲市大篠原 1414 番地 2	520-2313	588-4907	586-8252
	三上幼稚園 (こども園)	野洲市三上 134 番地	520-2323	588-2672	588-0532
	祇王幼稚園	野洲市永原 474 番地	520-2304	588-2737	588-0689
	北野幼稚園	野洲市市三宅 248 番地	520-2362	587-5332	587-2130
市立小学校 (6校)	中主小学校	野洲市西河原 712 番地	520-2423	589-2012	589-2025
	篠原小学校	野洲市大篠原 1414 番地	520-2313	587-0179	587-2177
	祇王小学校	野洲市上屋 1169 番地	520-2316	587-0129	587-2428
	三上小学校	野洲市三上 111 番地	520-2323	587-0049	587-2245
	野洲小学校	野洲市小篠原 1147 番地	520-2331	587-0062	587-2702
	北野小学校	野洲市市三宅 240 番地	520-2362	587-0058	587-2468
市立中学校 (3校)	中主中学校	野洲市六条 377 番地	520-2412	589-2036	589-4978
	野洲中学校	野洲市小篠原 510 番地	520-2331	587-0341	587-6768
	野洲北中学校	野洲市永原 1690 番地	520-2304	587-3693	587-6499

教育機関等（その他の機関）					
機 関 名	業 務 内 容 等	所 在 地	郵便番号	電話番号	FAX 番号
教育研究所	教育に関する調査 研究、教育関係職員 研修	野洲市小篠原 2100 番地 1 (庁舎別館 2階)	520-2395	587-6028	587-3835
学校給食センター	学校給食	野洲市八夫 2479 番地	520-2433	589-1011	589-1022
ふれあい教育相談 センター	就学児童・生徒及び 就学前児童支援	野洲市小篠原 1965 番地 4	520-2331	587-6925	587-2004
歴史民俗博物館	歴史、芸術、民俗等 調査研究等	野洲市辻町 57 番地 1	520-2315	587-4410	587-4413
野洲図書館	図書館運営・情報発 信	野洲市辻町 410 番地	520-2315	586-0218	587-5976
野洲文化ホール	施設貸し出し 公演等文化事業開 催	野洲市小篠原 2142 番地	520-2331	587-1950	586-1563
さざなみホール	施設貸し出し 公演等文化事業開 催	野洲市比留田 3313 番地 3	520-2422	589-3111	589-3105
総合体育館	教室事業運営 施設貸し出し 体育関連事業開催	野洲市富波甲 1339 番地	520-2351	587-3477	587-3276
中主 B & G 海洋セ ンター	教室事業運営 施設貸し出し 体育関連事業開催	野洲市六条 460 番地	520-2412	589-5100	589-5525
なかよし交流館	野洲ほほえみスポ ーツクラブの指定 管理施設 施設管理運営・障が い者のスポーツ事 業開催	野洲市富波甲 1339 番地 24	520-2351	587-6511	587-6511

# 学校・園の概要

## 1. 幼稚園

(1) 園児数 平成31年4月1日現在

区分	学級数(クラス)	園児数(人)
中主幼稚園	11	213
野洲幼稚園	7	121
ゆきはた幼稚園	7	21
さくらばさま幼稚園	5	21
三上幼稚園	4	49
祇王幼稚園	7	133
篠原幼稚園	6	33
北野幼稚園	10	217
合計	57	808

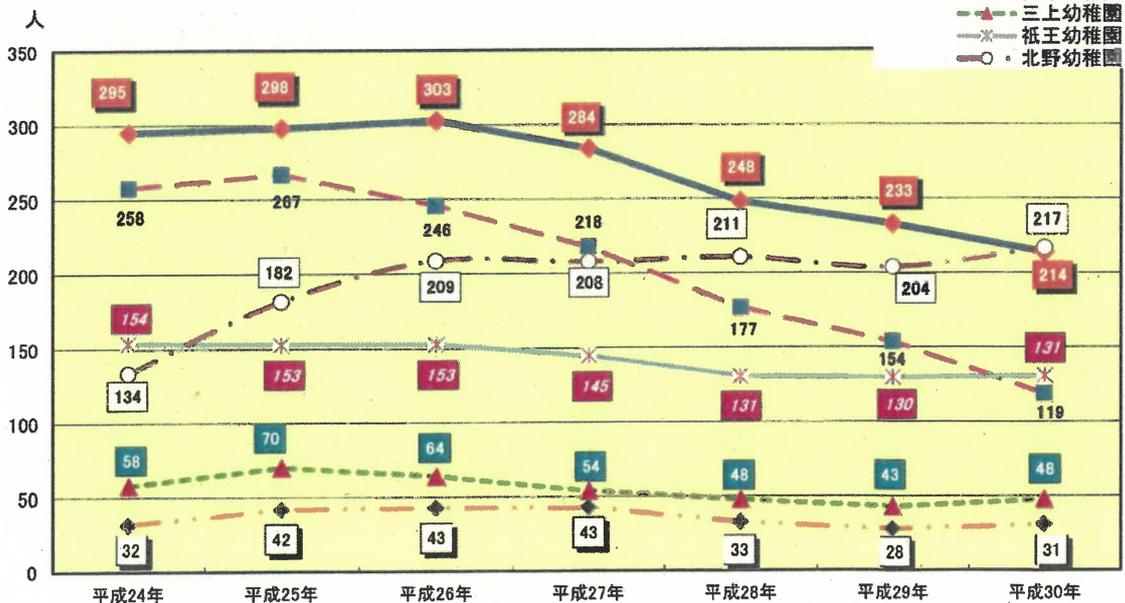
(2) 市立幼稚園 園児数の推移

※ 各年5月1日現在(資料:学校基本調査)

(単位:人)

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
中主幼稚園	295	298	303	284	248	233	214
野洲幼稚園	258	267	246	218	177	154	119
ゆきはた幼稚園					15	24	25
さくらばさま幼稚園			21	28	32	24	24
篠原幼稚園	32	42	43	43	33	28	31
三上幼稚園	58	70	64	54	48	43	48
祇王幼稚園	154	153	153	145	131	130	131
北野幼稚園	134	182	209	208	211	204	217
計	931	1012	1039	980	895	840	809

(3) 市立幼稚園 園児数の推移グラフ



## 2. 小学校

(1) 児童数 平成31年4月1日現在

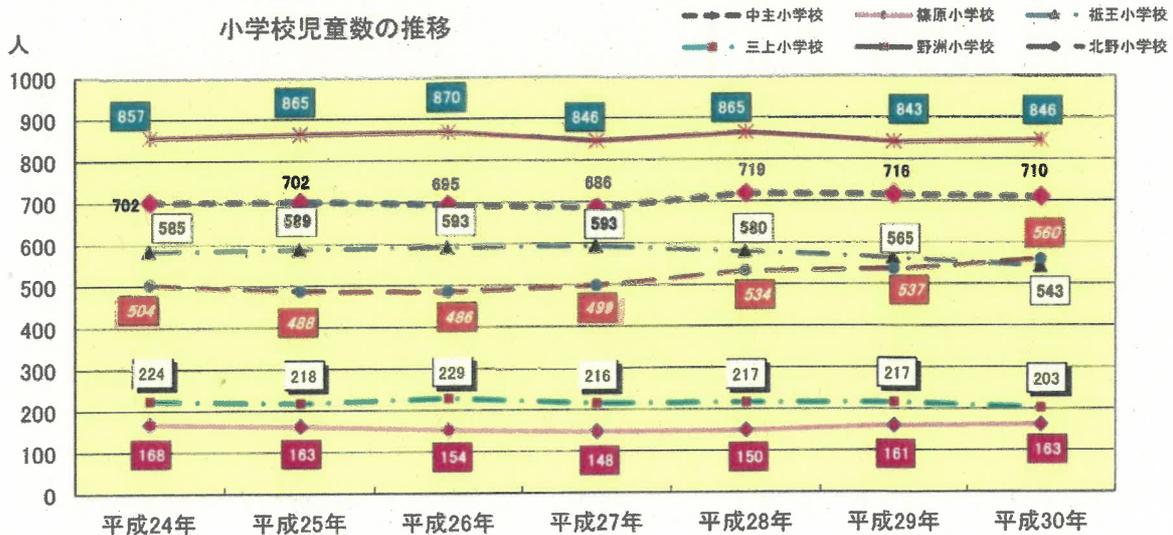
区分	学級数(クラス)	児童数(人)
中主小学校	27	681
篠原小学校	9	168
祇王小学校	23	529
三上小学校	10	194
野洲小学校	33	826
北野小学校	24	608
合計	126	3,006

(2) 市立小学校 児童数の推移

※ 各年5月1日現在(資料:学校基本調査)

区分	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		
	児童数(人)	学級数(学級)													
小学校	中主小学校	702	25	702	26	695	26	686	26	719	28	716	29	710	30
	篠原小学校	168	8	163	8	154	8	148	8	150	8	161	8	163	8
	祇王小学校	585	22	589	22	593	24	593	25	580	25	565	25	543	24
	三上小学校	224	11	218	10	229	10	216	9	217	10	217	10	203	10
	野洲小学校	857	31	865	32	870	32	846	31	865	33	843	32	846	34
	北野小学校	504	24	488	22	486	22	499	22	534	22	537	22	560	21
	計	3,040	121	3,025	120	3,027	122	2,988	121	3,065	126	3,039	126	3,025	127

(3) 市立小学校 児童数の推移グラフ



### 3. 中学校

(1) 生徒数 平成31年4月1日現在

区 分	学級数(クラス)	生徒数(人)
中主中学校	13	342
野洲中学校	18	523
野洲北中学校	19	547
合 計	50	1,412

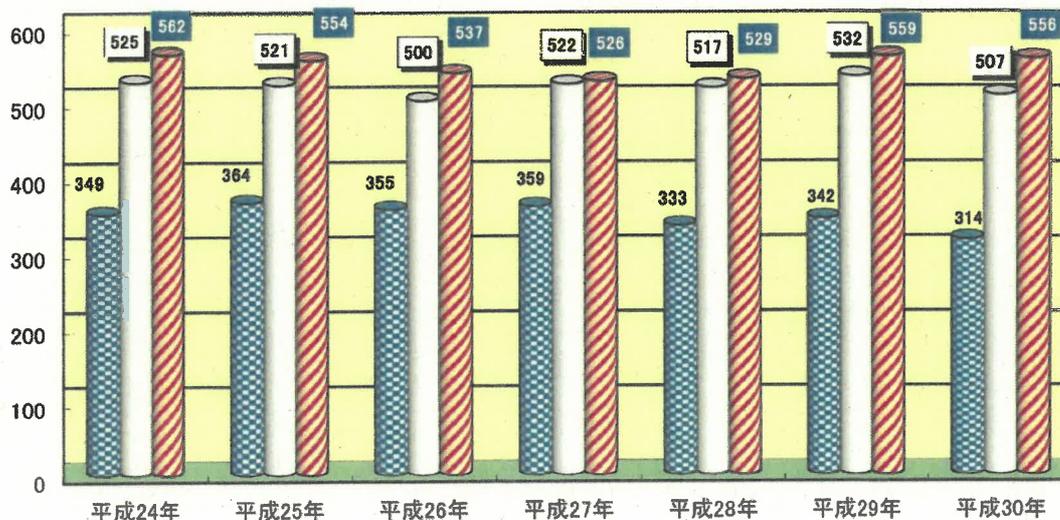
(2) 市立中学校 生徒数の推移

※ 各年5月1日現在(資料:学校基本調査)

区 分	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		
	生徒数 (人)	学級数 (学級)													
中 学 校	中主中学校	349	11	384	13	355	13	359	13	333	13	342	14	314	12
	野洲中学校	525	17	521	19	500	19	522	20	517	20	532	20	507	20
	野洲北中学校	562	20	554	21	537	19	526	17	529	18	559	20	556	21
	計	1,436	48	1,439	53	1,392	51	1,407	50	1,379	51	1,433	54	1,377	53

(3) 市立中学校 生徒数の推移グラフ

■ 中主中学校 □ 野洲中学校 ▨ 野洲北中学校



## 野洲市教育委員会の沿革

昭和30年 4月	野洲町・祇王村・篠原村が合併し、野洲町として発足
昭和30年 4月	中里村・兵主村が合併し、中主町として発足
昭和31年11月	中主町立中主中学校体育館竣工
昭和32年 3月	中洲村の一部（吉川、菖蒲、喜合）が中主町に編入
昭和33年 2月	中主町給食調理室竣工
昭和33年 3月	中主町立中主小学校校舎増築
昭和37年 4月	中主町立有隣館開館
昭和38年 2月	野洲町立野洲中学校体育館竣工
昭和39年10月	中主町第1回町民運動会開催
昭和40年 3月	中主町立中主中学校校舎増築
昭和42年 4月	野洲町立学校給食共同調理場竣工
昭和42年 5月	中主町立中主幼稚園開園
昭和43年 8月	中主町立中主公民館竣工
昭和44年 3月	中主町第1回町民文化祭開催
昭和46年 4月	野洲町立野洲幼稚園開園
昭和48年 4月	野洲町立視聴覚ライブラリー設置
昭和49年 4月	野洲町立篠原幼稚園開園
昭和50年 4月	野洲町立野洲西小学校を野洲町立野洲小学校に、また、野洲町立野洲東小学校を野洲町立三上小学校に名称変更並びに野洲町立三上幼稚園開園
昭和51年 4月	野洲町立祇王幼稚園開園
昭和54年 2月	中主町立学校給食センター竣工
昭和54年 3月	中主町立町民グラウンド竣工
昭和54年 7月	野洲町地域総合センター竣工
昭和54年 8月	野洲町立図書館開館
昭和55年11月	中主町文化協会設立
昭和56年10月	中主町B&G海洋センター体育館竣工
昭和57年 6月	中主町B&G海洋センタープール竣工
昭和58年 4月	野洲町立北野小学校開校 野洲町立中央公民館・野洲文化ホール開館 中主町立中主中学校校舎改築工事完成
昭和59年 4月	野洲町立野洲北中学校開校
昭和60年 2月	野洲町大岩山古墳群国史跡指定
昭和60年 4月	中主町立中主小学校新校舎竣工
昭和61年 8月	野洲町立野洲小学校本館棟大規模改造工事完了

昭和62年 8月	野洲町立野洲中学校体育館大規模改造工事完了
昭和62年10月	中主町立中主中学校コンピュータ導入
昭和63年 4月	野洲町立北野幼稚園開園
昭和63年11月	野洲町立歴史民俗資料館開館及び弥生の森歴史公園開園
平成 元年 4月	野洲町立総合体育館のうち体育館開館
平成 元年 8月	野洲町立篠原小学校本館棟大規模改造工事完了
平成 2年 8月	野洲町立温水プール開館及び野洲町立文化小劇場開館 野洲町立野洲中学校普通教室棟大規模改造工事完了
平成 3年 4月	野洲町立祇王社会教育センター開館、宮山二号墳史跡公園開園
平成 3年 8月	野洲町立野洲中学校特別教室棟大規模改造工事完了
平成 4年 4月	野洲町立幼稚園2年保育移行・ふれあい教育相談室開設・野洲町立篠原社会教育センター開館
平成 4年 7月	中主町立豊積の里総合センター開館
平成 4年10月	中主町立中主中学校海外派遣事業開始
平成 5年 4月	野洲町立三上社会教育センター開館及び野洲町立野洲社会教育センターを野洲町立中央公民館に併設
平成 5年 8月	野洲町立三上小学校本館棟大規模改造工事完了
平成 7年 5月	中主町立中主ふれあいセンター開館
平成 8年 3月	野洲町立野洲中学校柔剣道場開館 野洲町立小学校コンピュータ導入
平成 8年 9月	中主町立中主中学校とアメリカミシガン州ベアリン・スプリングス中学校との交流事業開始
平成 9年 4月	野洲町立中学校コンピュータ導入 野洲町立図書館コンピュータ導入
平成10年 4月	野洲町立コミュニティセンターきたの開館
平成10年11月	野洲町立祇王小学校大規模改造工事完了
平成11年 3月	野洲町立野洲小学校防音対策工事完了
平成12年 2月	中主町立中主中学校校舎改築工事完了
平成13年 4月	中主町さざなみ振興事業団設立
平成13年11月	野洲町立桜生史跡公園開園
平成14年 3月	野洲町立新図書館竣工、野洲町立三上幼稚園新築移転
平成14年 4月	中主町立中主幼稚園移転新築・3年保育・預かり保育開始
平成15年 6月	野洲町立野洲小学校、野洲幼稚園整備工事着工（PFI事業）
平成16年 5月	野洲町立野洲小学校以外の4校、2中学校コンピュータ導入 野洲町立野洲幼稚園整備工事完了
平成16年 9月	野洲町立野洲小学校整備工事完了
平成16年10月	野洲市誕生（中主町・野洲町の合併）
平成17年 4月	野洲市立野洲、三上、篠原各幼稚園3年保育開始
平成17年10月	野洲市立祇王幼稚園増築工事完了
平成18年 2月	野洲市立北野幼稚園増築工事完了

平成18年 4月	野洲市立祇王、北野幼稚園3年保育開始
平成19年 3月	野洲市立三上幼稚園預かり保育開始 野洲市立祇王小学校耐震補強及び大規模改修工事完了 野洲市学校給食センター新築工事完了 野洲市立なかよし交流館新築工事完了
平成19年 9月 平成20年 3月	野洲市立中主中学校コンピュータ入替え導入 野洲市立中主小学校コンピュータ入替え導入 野洲市立小・中学校（体育館）AED設置
平成21年 9月	野洲市立北野小学校体育館屋根改修工事完了 野洲市立中主小学校便所改修工事完了
平成22年 4月 平成22年 9月 平成23年 3月	野洲市立野洲・北野・祇王幼稚園預かり保育開始 野洲市立小・中学校校務用コンピュータ導入 野洲・祇王学童保育所新築棟竣工 野洲市立野洲中学校改築棟竣工
平成23年 4月 平成23年 6月 平成23年10月 平成23年11月 平成23年12月 平成24年 1月 平成24年 3月	野洲市立篠原こども園開設（篠原こども園で預かり保育開始） 野洲市立三上小学校改築棟竣工 野洲市立祇王小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事完了 野洲市立野洲小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事完了 野洲市立篠原小学校特別教室棟、体育館耐震補強及び大規模改修工事完了 野洲市立三上小学校本館、南館耐震補強及び大規模改修工事完了 野洲市立中主こどもの家、北野こどもの家竣工 野洲市立野洲中学校新館、体育館耐震補強及び大規模改修工事完了 中主B&G海洋センタープール改修工事完了 野洲市立幼稚園保育室エアコン導入
平成24年 4月 平成24年 8月 平成24年11月 平成25年 3月	平成24年度組織・機構の改編により、こどもの家に関する事務の所管を健康福祉部へ移す。 野洲市立小・中学校普通教室エアコン導入 篠原小学校教室棟改築工事完了 （財）野洲市文化スポーツ振興事業団解散
平成25年 8月 平成25年10月 平成26年 3月	野洲市立祇王小学校増築工事完了 野洲市立篠原小学校管理棟工事完了 野洲市立小、中学校の校舎等全ての建築物耐震化完了 野洲市立北野小学校増築工事完了 野洲市立野洲北中学校柔剣道場新築棟竣工
平成26年 4月	野洲市立さくらばさま幼稚園開園
平成27年 4月	新教育委員会制度移行
平成28年 4月	野洲市立ゆきはた幼稚園開園 平成28年度組織・機構の改編により、人権教育に関する事務（学校教育関係を除く）の所管を総務部へ移す。

平成30年	3月	中主B&G海洋センター体育館大規模改修工事完了
平成30年	8月	校務用PC更新、デジタル教科書・大型表示装置導入
平成31年	3月	体育センター閉鎖
平成31年	4月	三上幼稚園（こども園）開園



さくらばさま幼稚園（こども園）平成26年4月  
新築



ゆきはた幼稚園（こども園）平成28年4月  
新築



中主B&G海洋センター 平成30年3月  
大規模改修



三上幼稚園（こども園）平成31年3月  
増築

令和元年（2019年）5月発行

## 野洲市教育委員会

滋賀県野洲市小篠原 2100 番地 1

TEL (077) 587-6014

FAX (077) 587-3835